eversolo

High Fidelity Music Streamer

DMP-A6 Gen2

DMP-A6 Master Edition Gen2

取扱説明書

株式会社ブライトーン

目次

お使いになる前に 3
はじめに 4
安全にお使いいただくために 5
安全にお使いいただくために（続き） 6
接続 7
各部の名称 8
電源のオンオフ 11
SSD の増設 12
基本操作 15
Music Service 22
ファイル管理（File manager） 37
入力と出力（Inputs/Outputs） 38
アプリケーション（Apps） 39
CD 再生及びリッピング（CD Playback and Ripping） 40
システム設定（System Setting） 42
出力設定 53
入力設定 58
ダウンロード（Downloads） 61
困ったときは 62
FAQ 63
お手入れ 64
アフターサービス 65
保証規定 66
保証書 67

お使いになる前に

本体及び付属品のご確認

万一、製品内容に不足や損傷がありましたら、
お買い上げになった販売店または弊社へご連絡下さい。

次の内容物が揃っていることを確認下さい。

〇Eversolo DMP-A6 (Master Edition) Gen2　：1 台
〇電源ケーブル（壁コンセント → Eversolo 間）　：1 本

取扱説明書（本書）
保証書（取扱説明書に印刷されています）

使用上の注意

●本機の上には物を置かないで下さい
●直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、
　温度が高くなる場所に置かないで下さい。
　また、アンプなど、熱を発生する機器の上には置かないで下さい。
●安定した場所に置いて下さい。

はじめに

この度は Eversolo DMP-A6 (Master Edition) Gen2 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、必ずこの『取扱説明書』をよくお読み頂き、本製品を末永くご愛用下さい。

お読みになった後は、いつでも見られるところに製品の保証書と一緒に、本書を大切に保管して下さい。

なお本製品は厳重な品質管理のもとに製造しておりますが、お買い上げ後お気づきの点がございましたら、お早めにお買い上げ頂いた販売店または弊社までお問い合わせ下さい。

- 本書の内容については万全を期して作成しております。万一、記載内容に誤りなどお気づきの点がございましたら、大変お手数ですが、弊社までご連絡をいただければ幸いです。

- 本書の運用により生じた結果の影響については、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承願います。

- 本書の内容は、将来予告なく変更することがあります。

- 本書に記載しているパソコン設定は、基本的なパソコンの操作・設定ができることを前提に記載しております。パソコンの基本操作についてのお問い合わせは、ご容赦願います。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読み下さい。

警告	以下の内容を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などによって、死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。
電源プラグを抜いて下さい	**万一、異常が起きたら** 煙が出たり、変なにおいや音がするとき 機器の内部に異物や水が入ったとき この機器を落としたり、キャビネットを破損したとき 直ぐに電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。 販売店または弊社に修理を依頼して下さい。
禁止	電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない コードが破損すると火災・感電の原因となります。万一、電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店または弊社に交換を依頼して下さい。
	電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、ゴミやほこりを取り除いて下さい。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。 また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないで下さい。火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水の入った容器を置かない 内部に水が入ると故障の原因となります。
分解禁止	この機器の外装は絶対に外さない 外装を開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は、販売店または弊社に依頼下さい。
	この機器の改造をしない 火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために（続き）

注意	以下の内容を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故によって、けがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。
強制	オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する それ以外の物を使用すると故障、火災・感電の原因となります。
	電源を入れる前には、音量を最小にする 入力切替スイッチを切り替えるときは、音量は最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、直ぐに電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
禁止	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近づけない コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ず電源プラグを持って抜いて下さい。
電源プラグを抜いて下さい	移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く
	お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜く 感電の原因となることがあります。

接続

接続時の注意

以下の内容を無視して誤った取扱いをした場合、本機および接続しているオーディオ機器などの動作不良や故障の原因となります。

全ての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込むこと

- 必ず AC100V の壁コンセントに差し込む。
- 接続には端子形状（仕様）に合ったケーブルを使用する。
- 本器のアナログ出力と他機のデジタル入力を接続しない。
- 電源を ON にする前に、接続するアンプの音量レベルは最小にしておく。
- 接続する機器の『取扱説明書』に従って接続する。

各部の名称

DMP-A6 Master Edition Gen 2 と DMP-A6 Gen 2 の違い

DMP-A6 Master Edition Gen2 と DMP-A6 Gen2 は 3 つの点で異なります

①前面のプレート及びボリュームノブの縁のカラーバリエーション
DMP-A6 Master Edition Gen2：ゴールド
DMP-A6 Gen2：シルバー

②クロック
DMP-A6 Master Edition Gen2：フェムトクロック
DMP-A6 Gen2：クリスタルクロック

③オペアンプ
DMP-A6 Master Edition Gen2：OPA1612
DMP-A6 Gen2：OPA1642

DMP-A6 Master Edition Gen 2 と DMP-A6 Gen 2 のアップグレード点

①WiFi 対応

②Bluetooth 対応

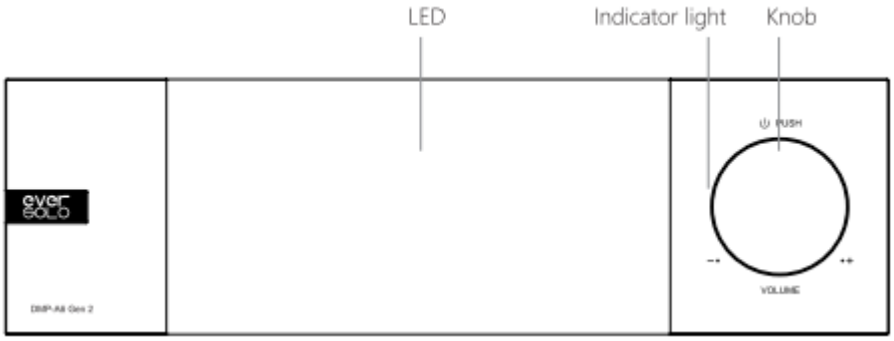
③HDMI ARC 対応

④リニア電源導入

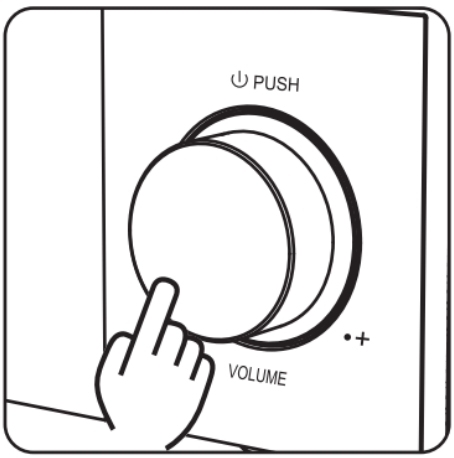
⑤トリガー対応

Eversolo DMP-A6 (Master Edition) Gen2

本体：前面パネル



LED	前面液晶パネル
Indicator light	電源オンの時に点灯
Knob	ボリュームノブ、電源オンオフ



回す：ボリューム調整

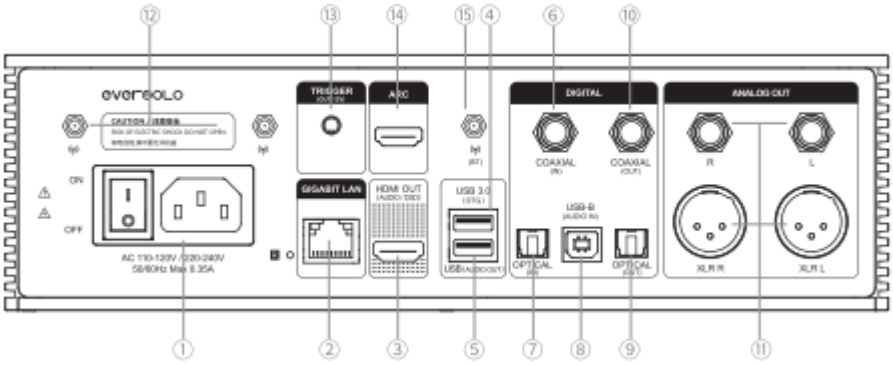
押す：
電源オン/電源オフ/再起動
シャットダウン/スクリーンオフ

長く押す：電源オフ

ボリューム調整は、設定により音量ステップ（0.5db～3db）を調整できます。

Eversolo DMP-A6 (Master Edition) Gen2

本体：後面パネル



① 電源ソケット/スイッチ

② ギガイーサネットソケット

③ HDMI オーディオ専用出力：DSD 出力サポート

④ USB3.0 外部ストレージ、ディスクドライブ、PC 等接続用

⑤ USB（オーディオ用）USB DAC 接続用

⑥ コアキシャル入力　CD プレーヤー、デジタルターンテーブル等

⑦ 光入力　CD プレーヤー、デジタルターンテーブル等

⑧ USB-C 入力　携帯、PC 用

⑨ 光出力　デコーダー、プリアンプ接続用

⑩ コアキシャル出力　デコーダー、プリアンプ接続用

⑪ XLR/RCA アナログ出力

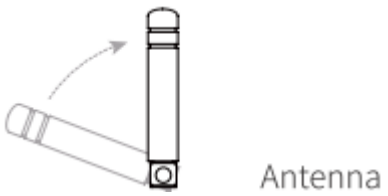
⑫ WiFi アンテナ

⑬ トリガー出力 電源オン時 12V、電源オフ時 0V

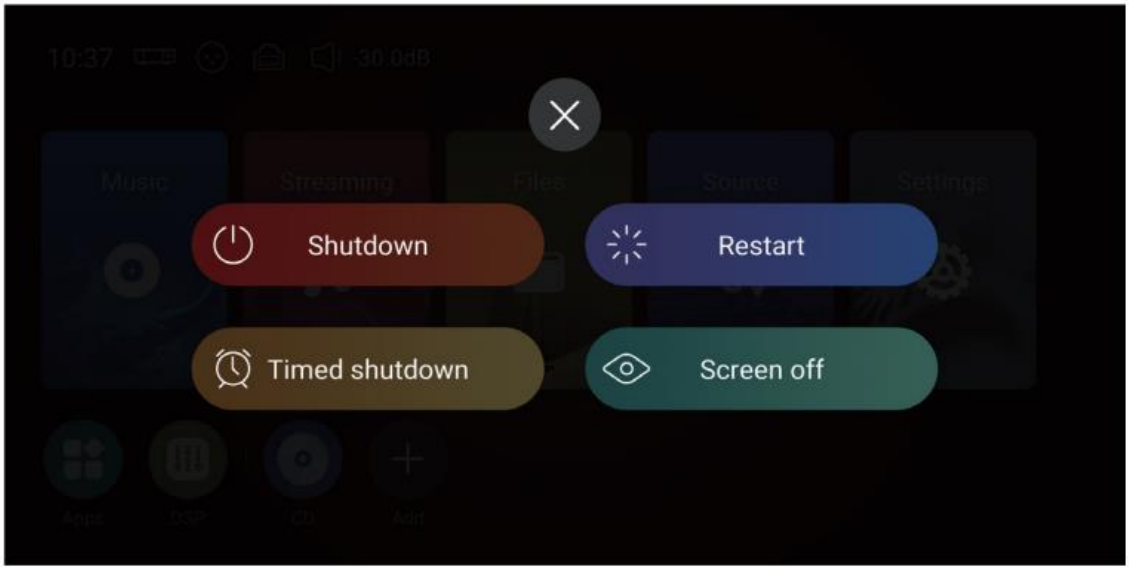
⑭ HDMI ARC eARC/ARC 対応

⑮ Bluetooth アンテナ

※コアキシャル、光、USB 入力時には XLR/RCA アナログ出力をお使いください



電源のオンオフ



電源 ON

電源オフの時にノブを一旦押すと電源オンになります。

電源 OFF

短くノブを押すと上記のポップアップが表示されるので
Shutdown をタッチします。
再起動する場合は Restart をタッチします。
長くノブを 3 秒間押すと電源オフになります。

時間指定シャットダウン

複数のタイマーを選択することも、
カスタマイズすることもできます。

スクリーンオフ

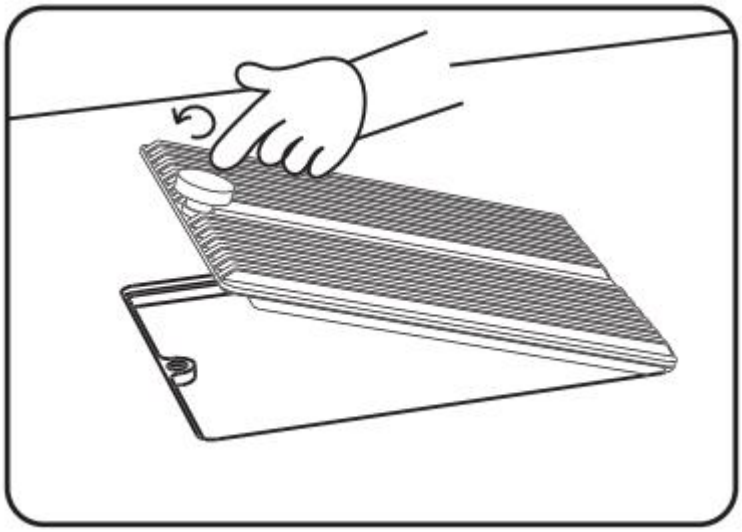
デバイスは画面オフ後も動作し続けます。
画面をもう一度タップすると点灯します。

SSD の増設

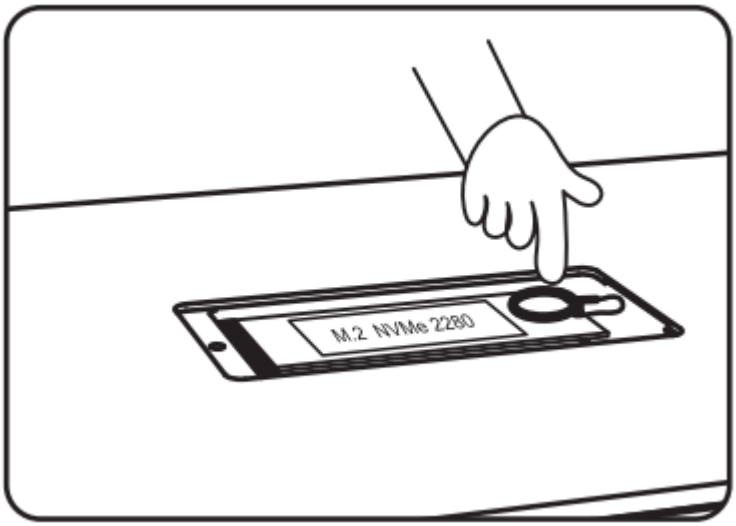
SSD は同梱されていませんが、ご自身で追加することができます。
購入される場合、M.2(NVMe PCIe3.0)2280 接続になりますのでご注意ください。
4TB までサポートしています。

SSD の装着方法

1. 本体を逆さまにして傷つけないように台に置きます。
   スクリューを手で回し SSD 部のカバーを開けて蓋を外します。



2. SSD 固定用のクリップを外し、慎重に SSD を挿入してから
   クリップをはめ、蓋をしてネジを締めます。



注意

✓ 取り付ける SSD は要求された仕様に準拠しているものを用意してください。

✓ SSD に損傷を与える可能性があるため、電源を入れたまま SSD を交換しないでください。

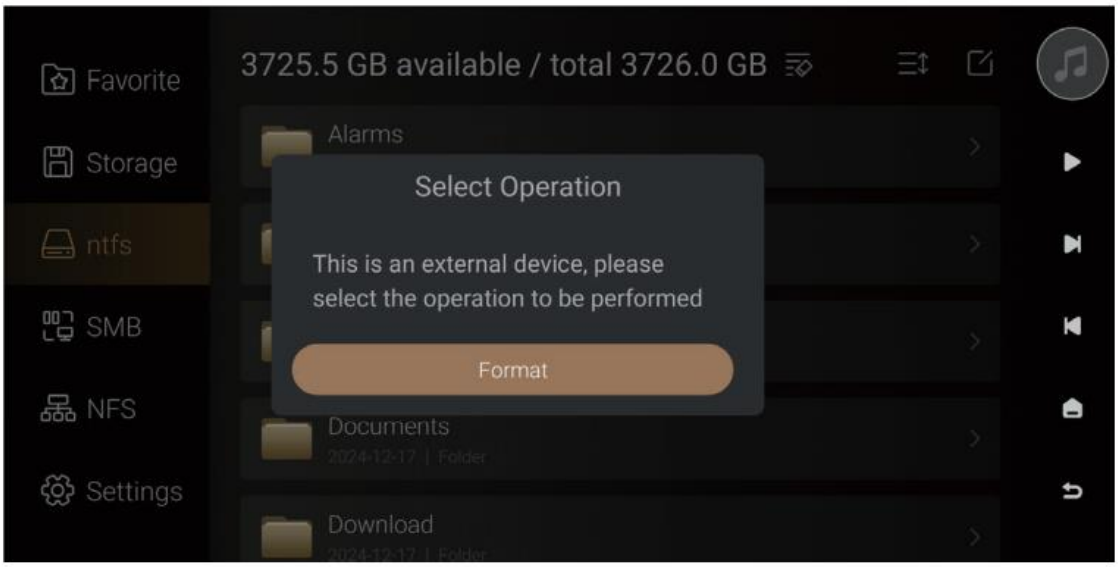
✓ SSD のフォーマットは NTFS、EXFAT、および FAT32 がサポートされています。

✓ SSD が認識できない場合は、次の方法で SSD をフォーマットしてください。

[ホーム画面（機器本体）] > [Files] > 左列から対象の SSD を見つけてタッチする > [Format]

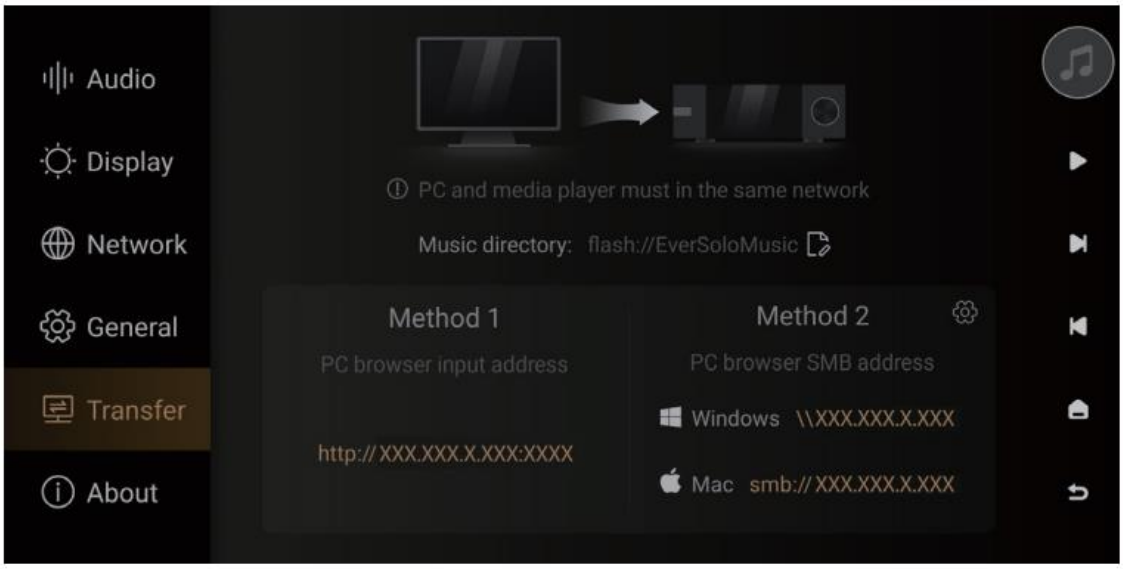
✓ システムは自動的に挿入した SSD に対していくつかのフォルダーを自動的に作成しますのでご注意ください。

※新しく認識された SSD は 「New volume」や「ボリューム」と
なっていることが多いです。
この中で「Music」という名前のフォルダーがあるので
そこに音楽ファイルを保存するのをお勧めします。
「Music」以外の場所に保存しても再生できます。



曲の転送をより適切にサポートするには、音楽ディレクトリとして増設した外部ストレージ デバイスを選択することをお勧めします。
「Settings > Transfer」に移動し、

をクリックして、挿入した外部ストレージデバイスを選択します。
指定したストレージの直下にデータが転送されます。



本体画面に表示された
上記の URL をブラウザに入力することでアクセスすることができます。

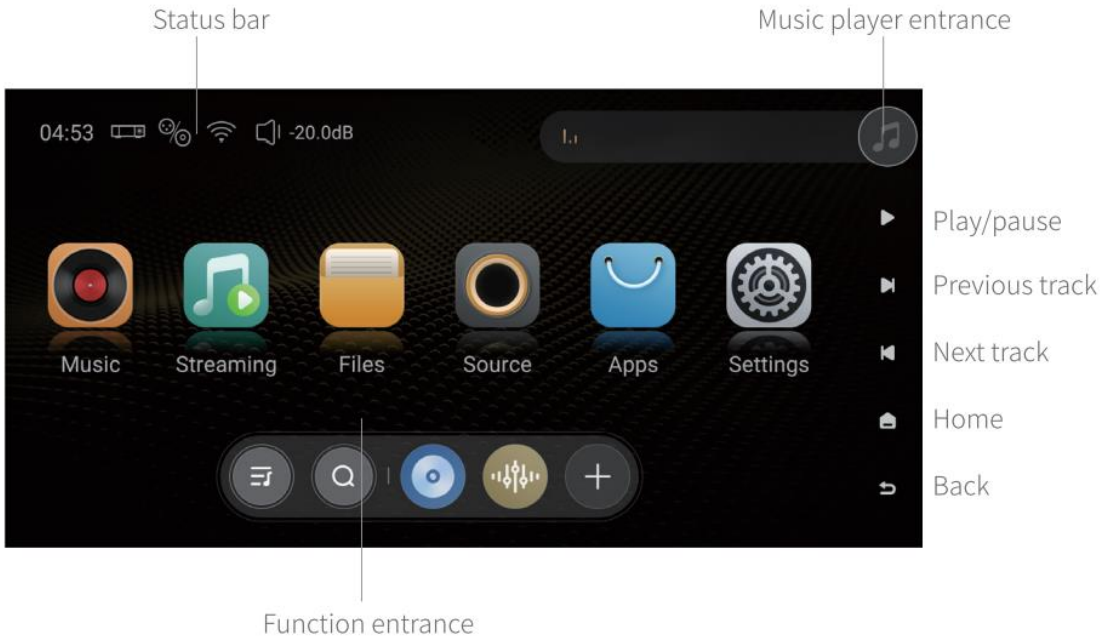
基本操作

ホーム画面（機器本体）

機器本体前面の LED で表示される画面です。

同じ画面をモバイル機器やタブレットで Cast をタッチすることで
表示できます。
その際はモバイル機器やタブレットの処理速度が遅いと画面遷移も遅くなります。
なるべく処理速度が速い機器のご使用をお勧めいたします。

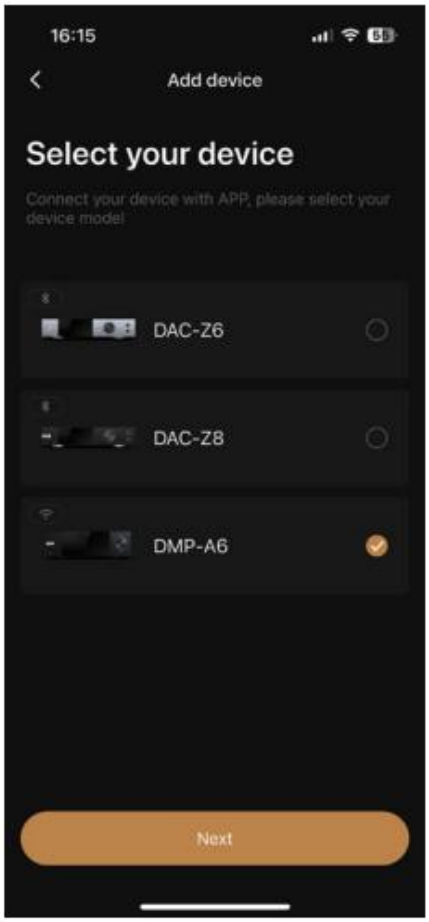
以降の説明はこの機器本体のホーム画面を中心に説明していきます。

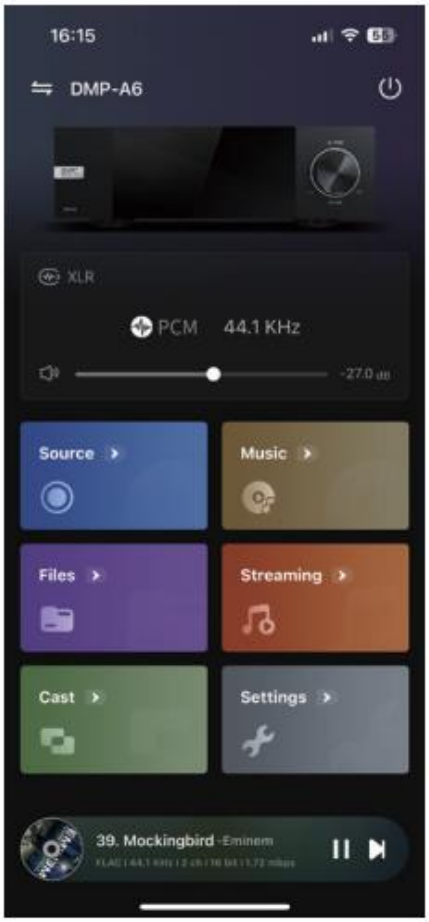


Status bar（ステータスバー）
　入力/出力設定、ネットワーク確認、ストレージデバイス設定、
　ボリューム設定のアイコンが並びます。

Music player entrance（ミュージックプレーヤーエントランス）
　右端は現在演奏している曲が表示され、
　タッチすることでミュージックプレーヤー画面へ遷移します。

ホーム画面（モバイル機器）

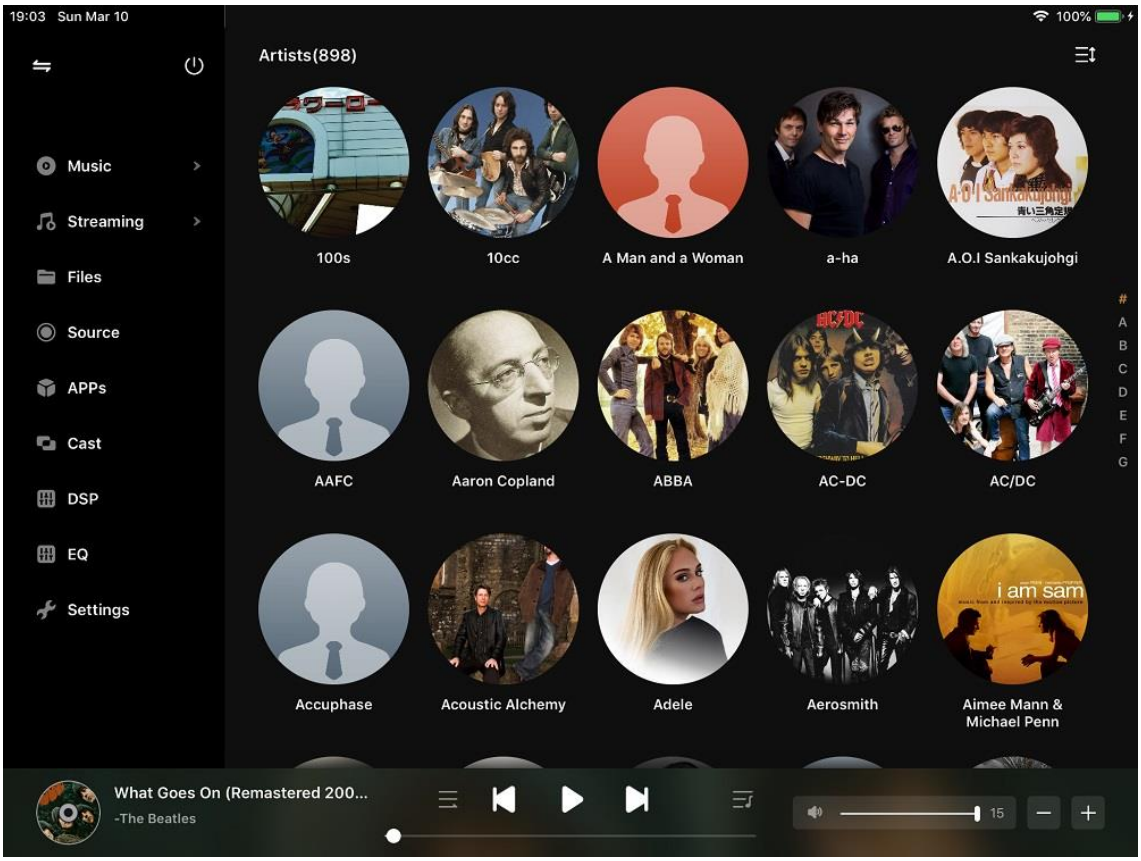




Cast（本体画面表示）をタッチすると
　機器本体の前面パネルと同じ画面が表示されます。

Music player entrance（ミュージックプレーヤーエントランス）
　最下部に表示されています。
　タッチすることでミュージックプレーヤー画面へ遷移します。

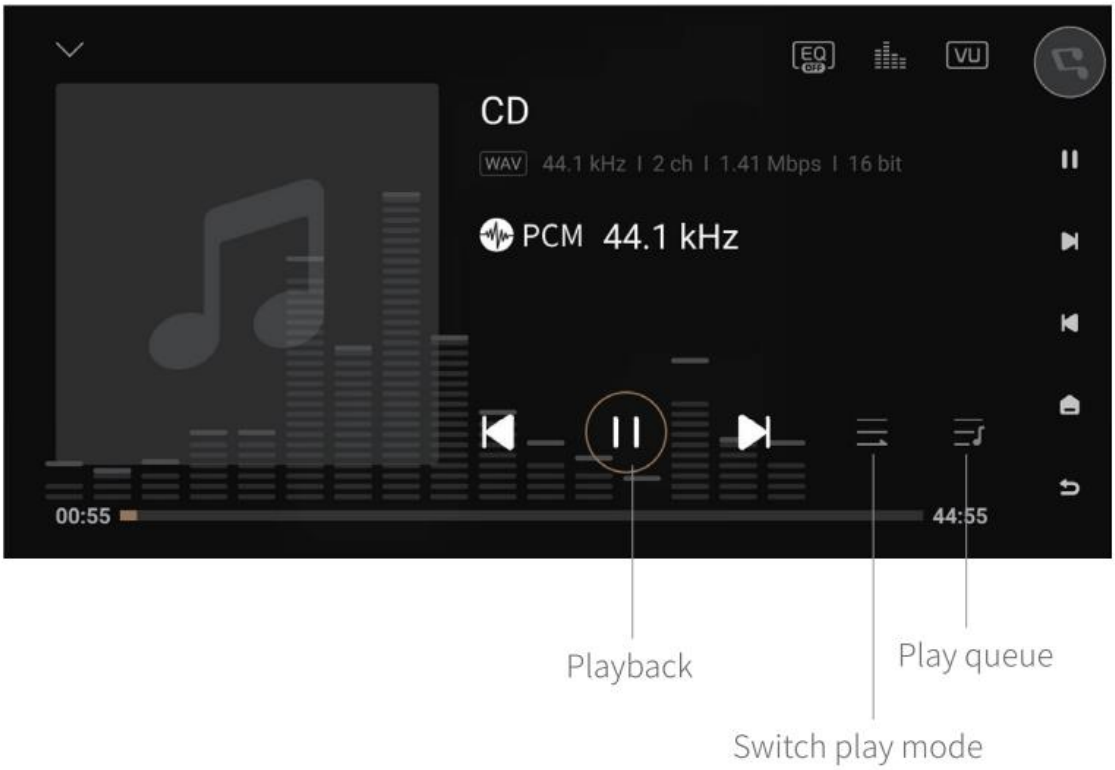
ホーム画面（タブレット横画面表示）



Cast（本体画面表示）をタッチすると
　機器本体の前面パネルと同じ画面が表示されます。

Music player entrance（ミュージックプレーヤーエントランス）
　最下部に表示されています。
　　タッチすることでミュージックプレーヤー画面へ遷移します。

ミュージックプレーヤー画面



本機は SSD、ハード ドライブ、NAS、ストリーミング サービス アプリから
ロスレス音源を再生できます。
ホーム画面から 「Music player entrance（ミュージックプレーヤーエントランス）」
をクリックして表示できます。
現在再生中のトラック、進行状況が確認できます。

Playback（再生）
　前/次のトラックへの遷移、一時停止/再生コントロールを備えています。

Switch play mode（再生順の変更）
　再生順序を切り替えます。
　（リストループ、シングルループ、シャフインプレイ、オーダープレイ）

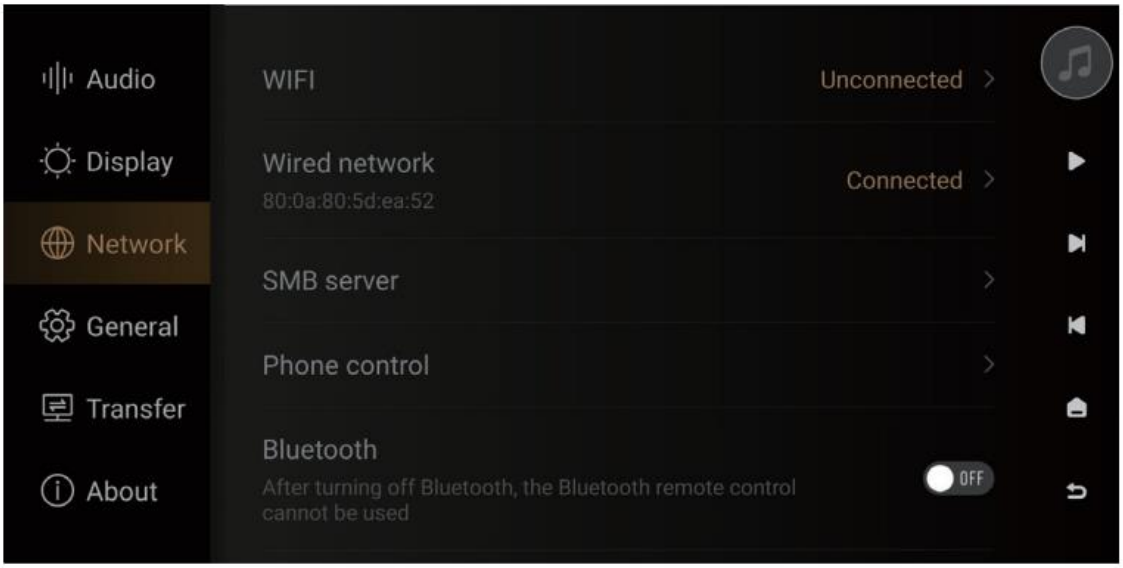
Play queue（再生リスト）
　再生するトラックがリスト表示されます。

ネットワーク確認画面

ホーム画面（機器本体）の

Settings をタッチして遷移します。

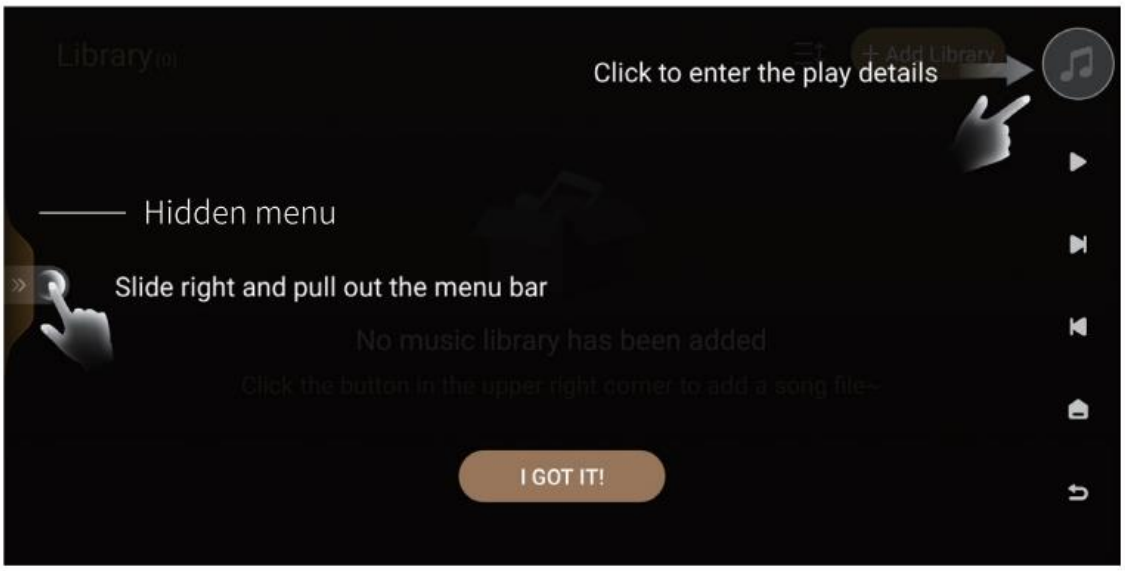
左側の Network をタッチして表示します。



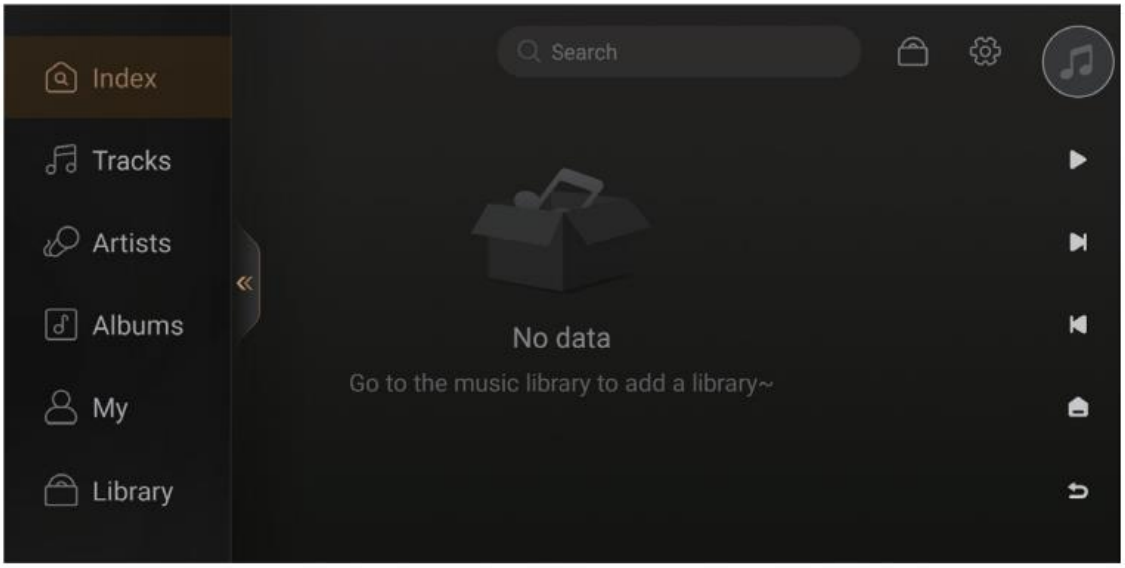
ミュージックライブラリー追加画面

お手持ちの音源ファイルをミュージックライブラリーに追加して
再生できるようにします。

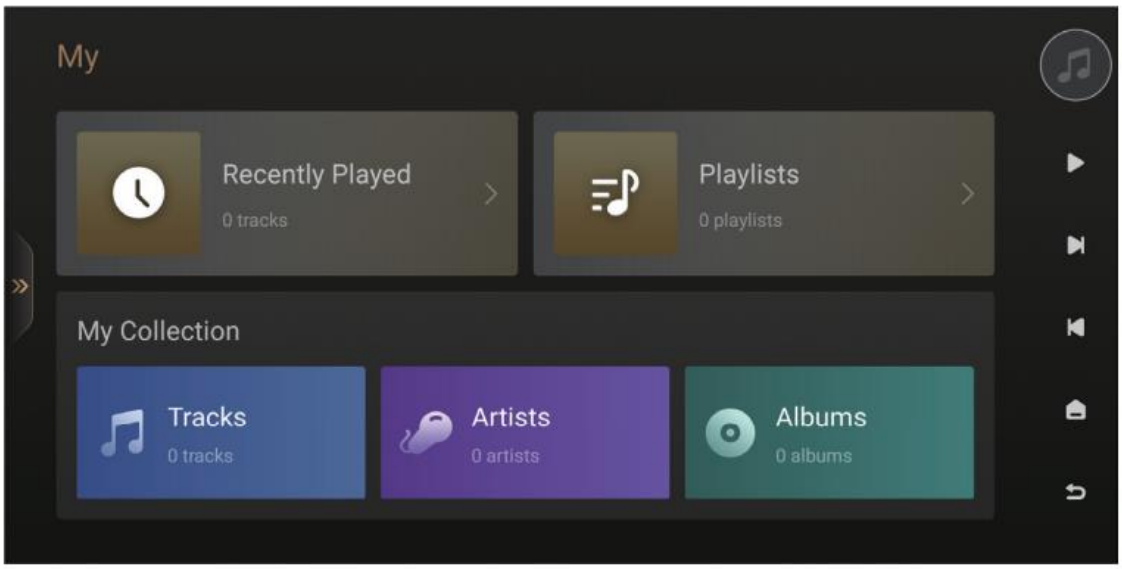
音楽ライブラリを使用すると、ローカルの音楽を管理および分類できます。
「Add Library」をクリックして、ローカル SSD、外部ストレージ デバイス、SMB、NFS から音楽を追加します。または、左側の非表示メニューのホバー ウィンドウをクリックして、「Library」を選択します。



DMP-A6 Gen2 は追加された音楽ファイルをトラック、アーティスト、アルバム等毎に自動で分類します。



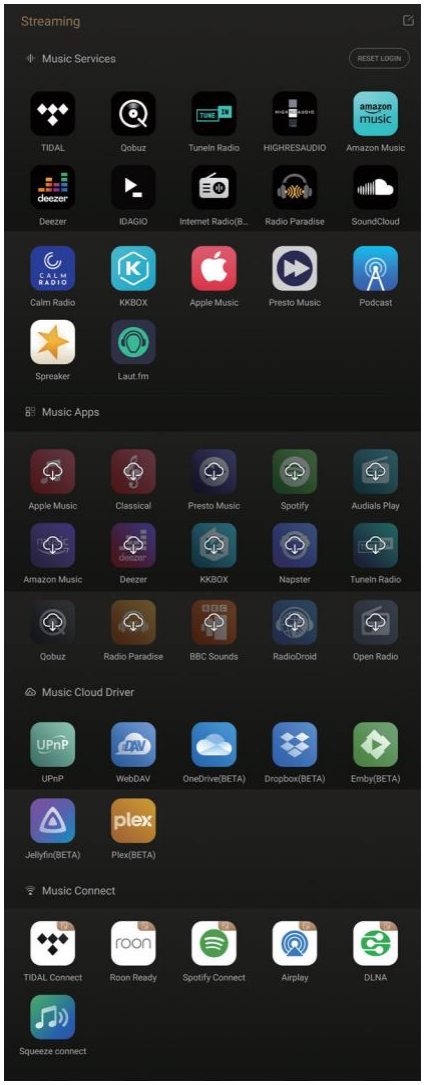
「My」には、最近再生したレコード、個人の好みに応じて追加されたプレイリスト、お気に入りのトラック、アーティスト、アルバムへのクイックアクセスが表示されます。



Music Service

ホーム画面で Streaming をタッチすると設定できます。

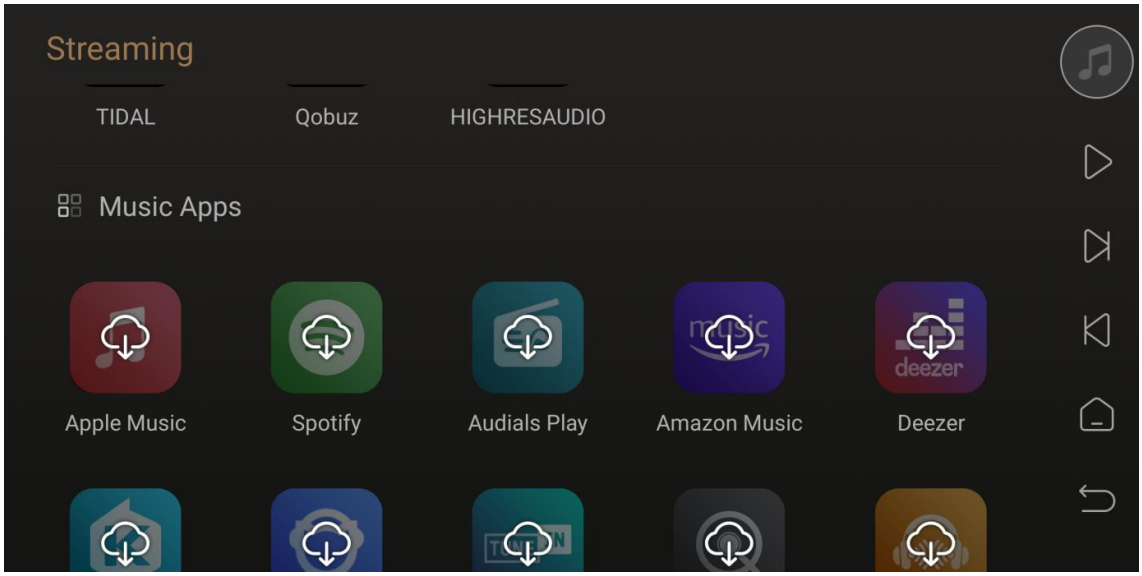
これには、ストリーミング サービス（Music Services）、音楽アプリ（Music Apps）、ミュージッククラウドドライバー（Music Cloud Driver）、ミュージックコネクト（Music Connect）が含まれます。

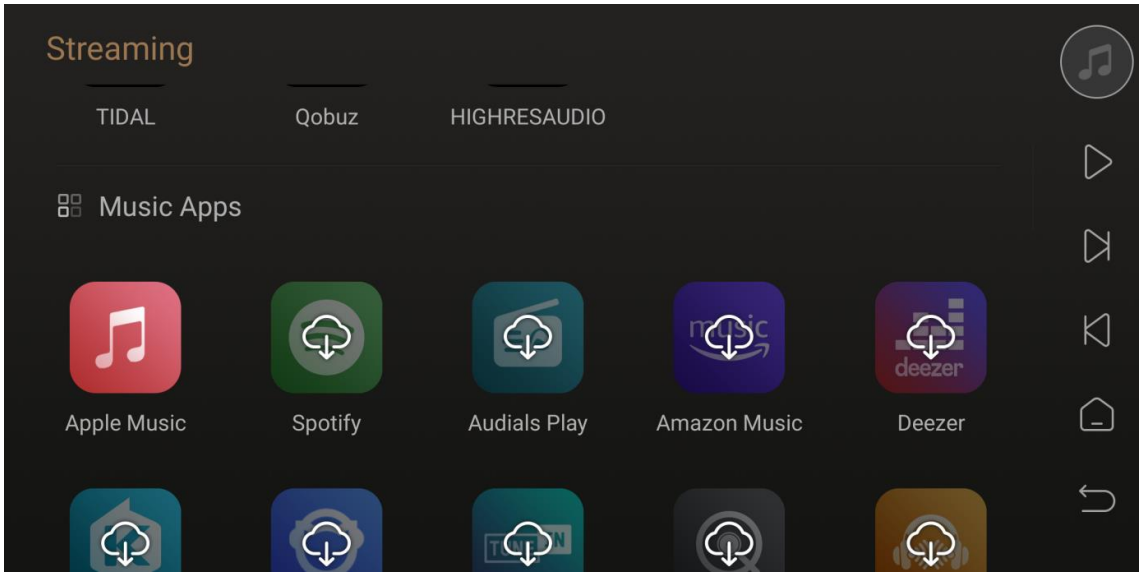


※注: *さらに多くの音楽アプリがダウンロード可能です。
ファームウェアのアップデートについては公式ウェブサイトをご確認ください。

○Apple Music の追加の仕方

機器本体のホーム画面で Streaming をタッチして
Streaming 画面を表示した後に下にスクロールして Music Apps を見つけ、
ダウンロードアイコンをクリックして Apple Music をインストールします。
インストールが完了したら、クリックして Apple Music を開始します。



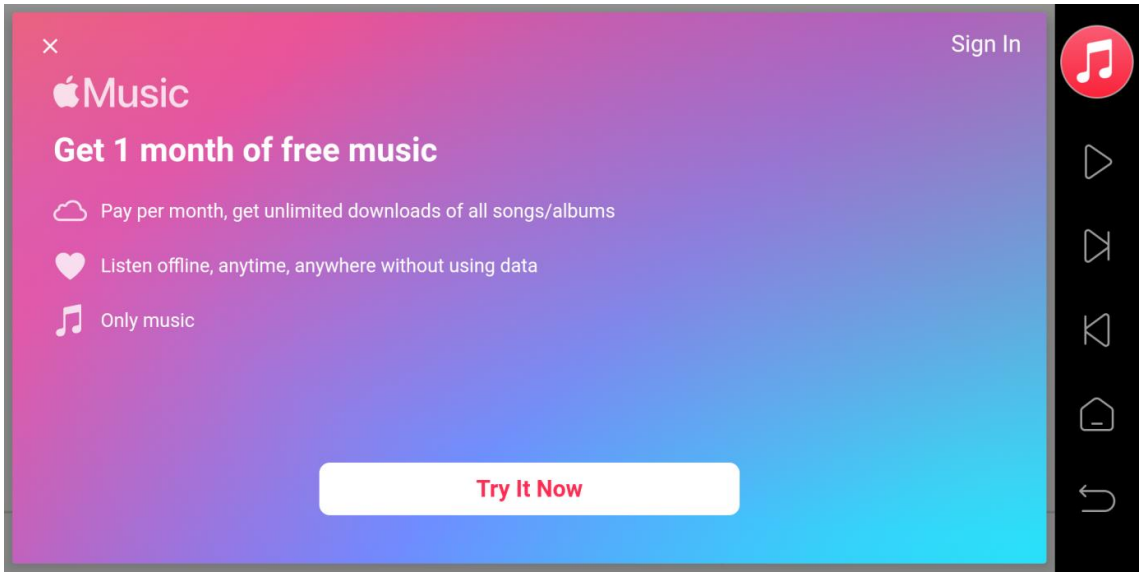


ユーザー契約の一番下までスクロールし、Try It Now をクリックして、右上隅の Sign In をクリックします。

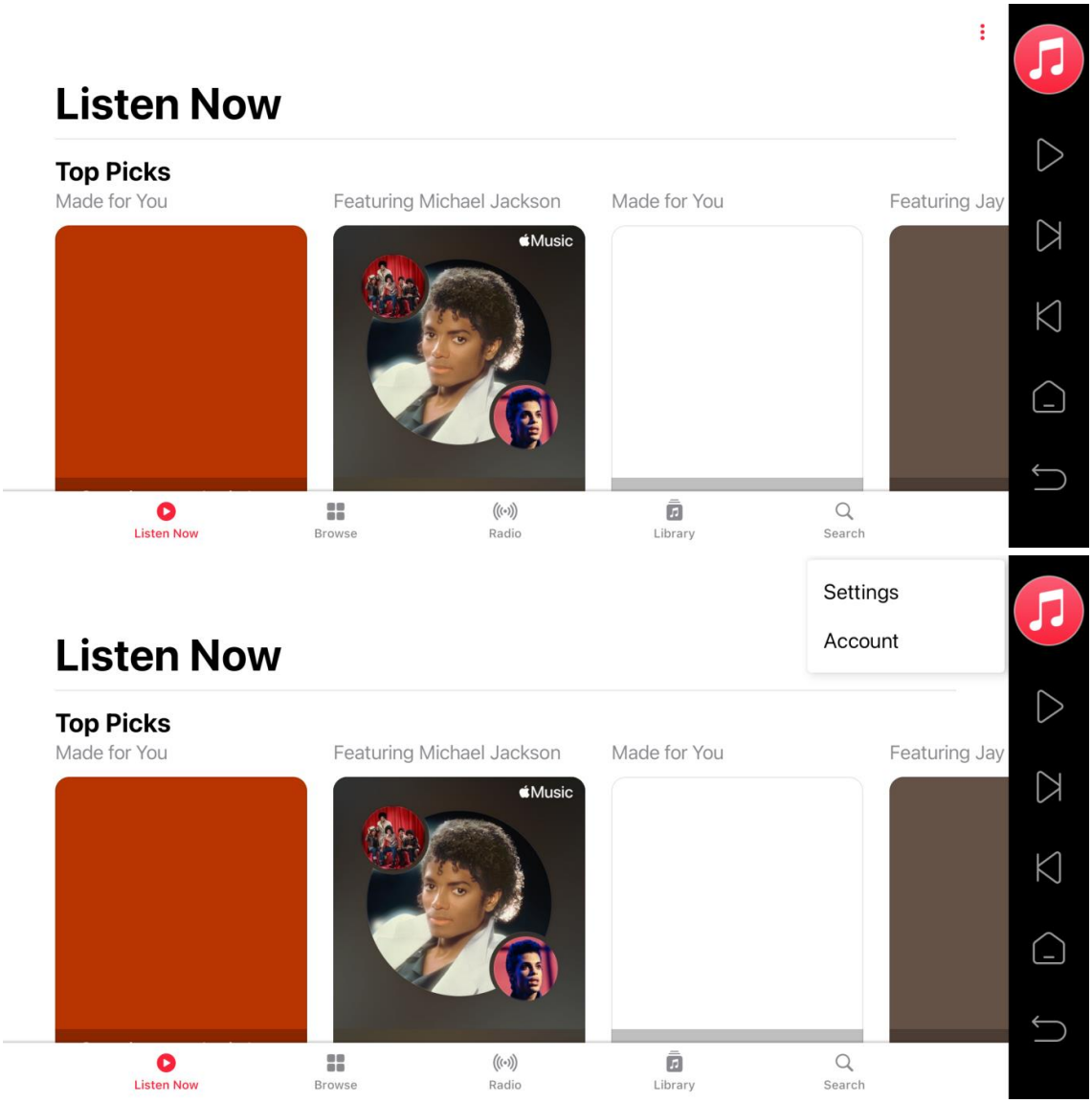
● 帯域幅や Apple ID サーバーノードなどの不確実な要因により、ログイン時に Apple アカウントのパスワードと確認コードを入力した後に遅延が発生する可能性があります。 ログイン処理中はウィンドウを閉じないでください。1 分間以上かかる場合もあります。

● ログインするには、APPLE デバイスから二次認証コードを取得する必要があります。自動的に表示されない場合は、いずれかの APPLE デバイスに移動してください。

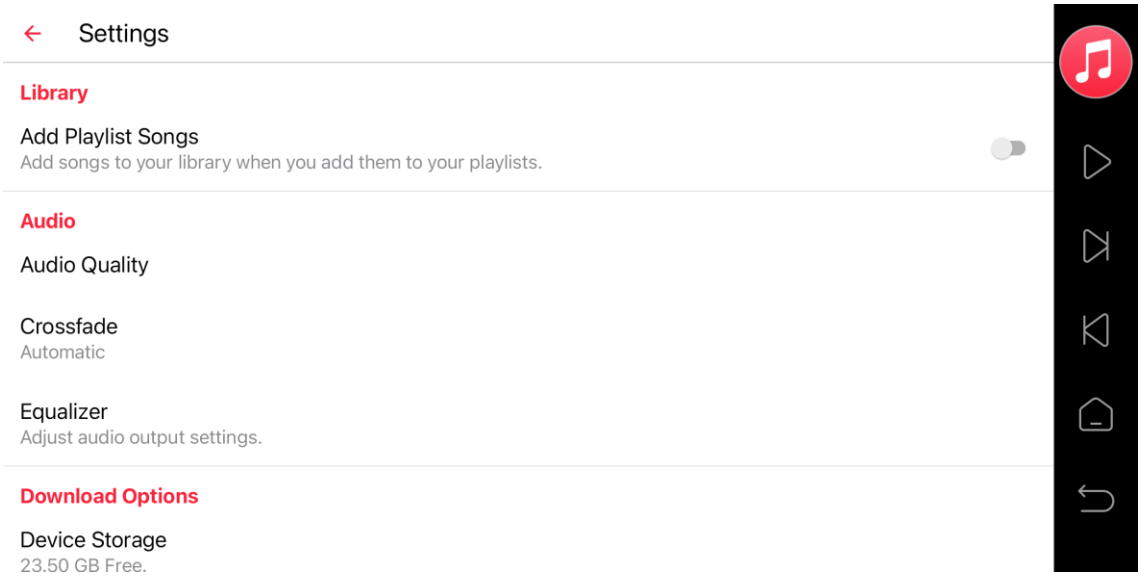
[設定] - [APPLE ID] - [サインインとセキュリティ] - [二重認証] - [確認コードの取得]
※この記述は OS のバージョン等により異なる場合があります。



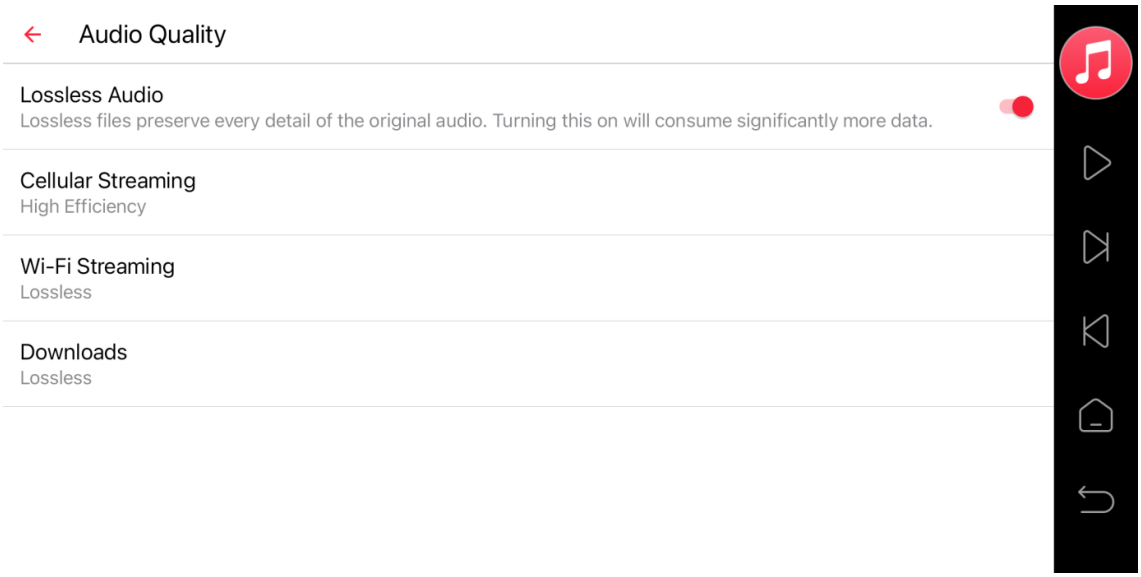
ログイン後、右上隅にある 3 つの点をクリックして Settings にアクセスします。



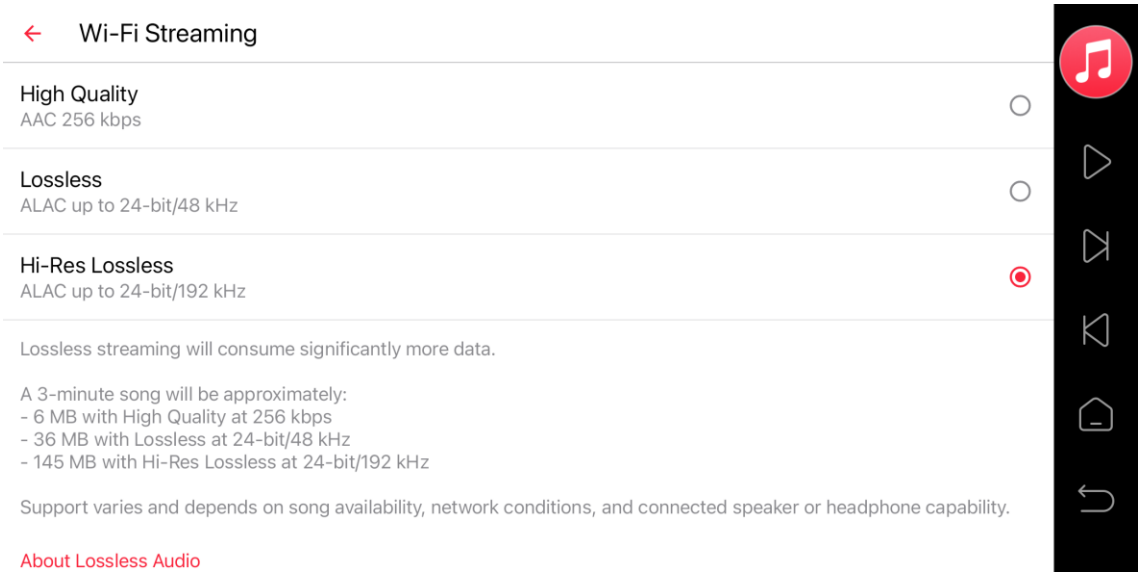
Settings の Audio Quality をタッチします。



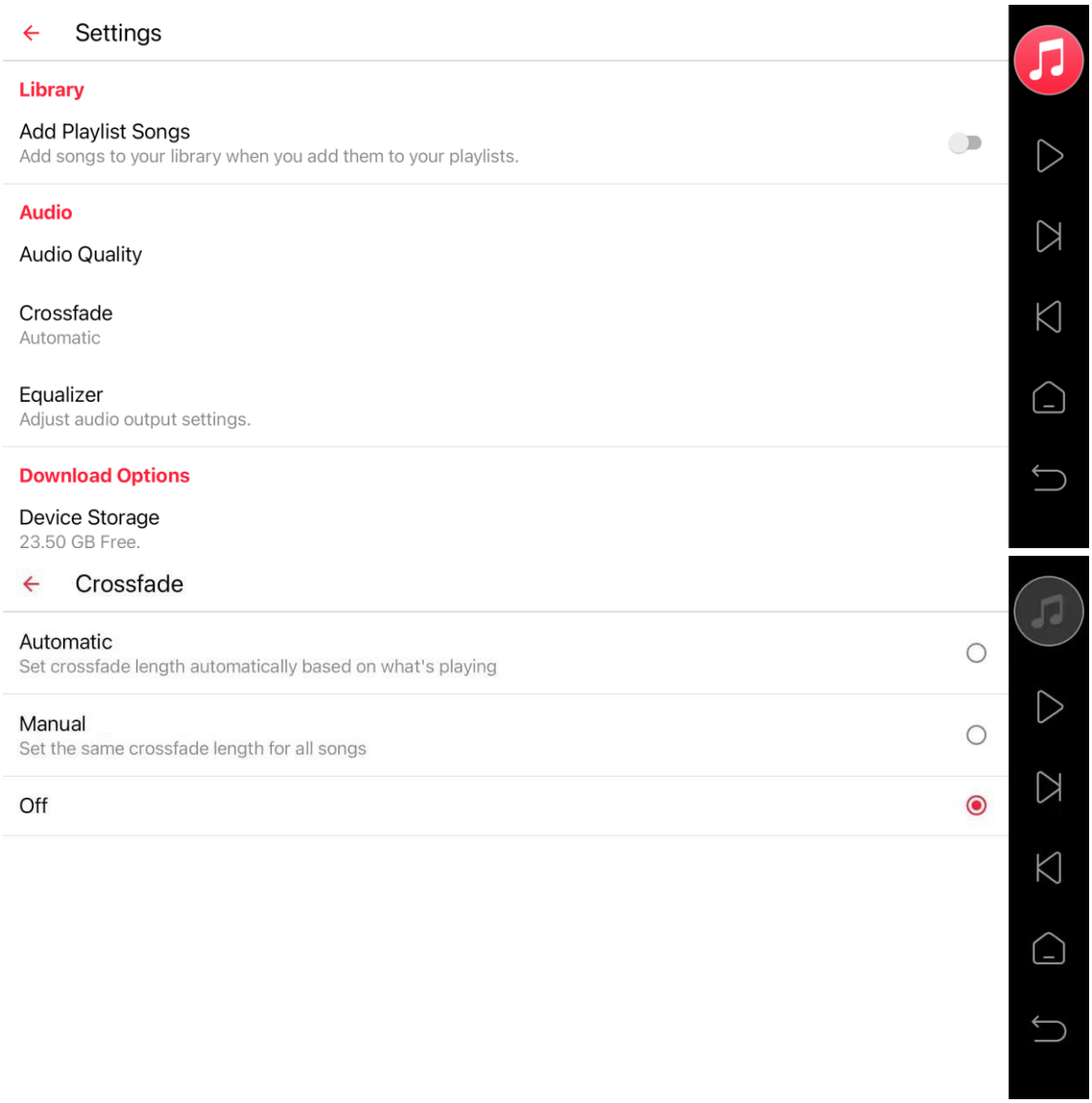
Wi-Fi ストリーミング再生オプションを入力し、ロスレス オーディオを有効にします。



「Hi-Res Lossless」を選択するとハイレゾ再生されるようになります。



Settings に戻り、Crossfade オプションをタッチします。
Off にすることでトラック全体が再生されるようになります。



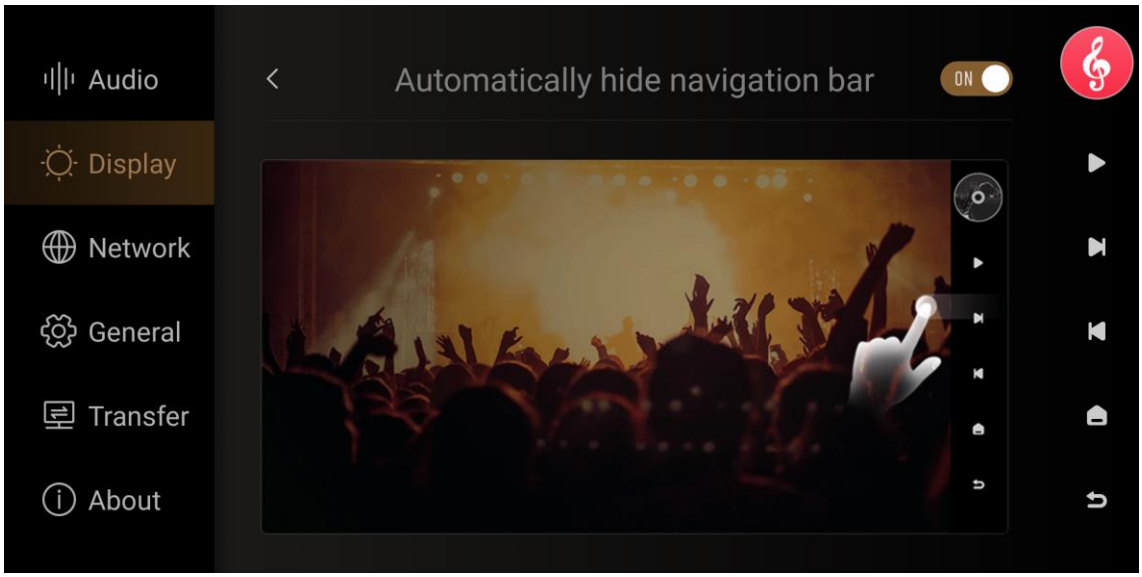
曲を選択して再生します。

音楽再生中に右上隅のアイコンをタッチすると、
表示が VU メーターに切り替わります。

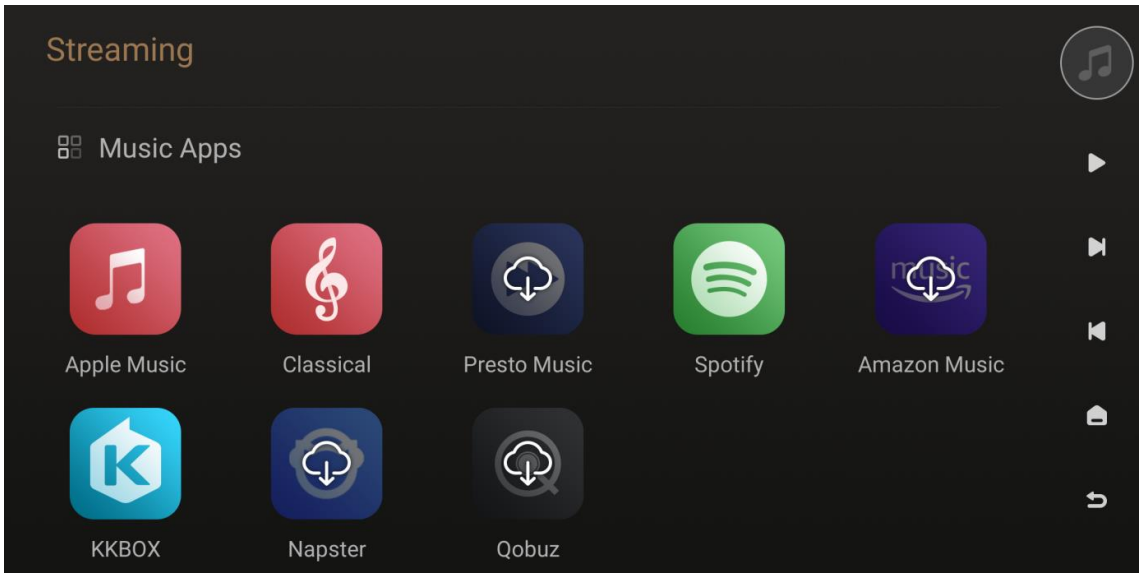
〇Apple Music Classical の追加の仕方

Apple Music Classical Music にアクセスするには、
事前に Apple Music に APPLE ID でログインしておいてください。

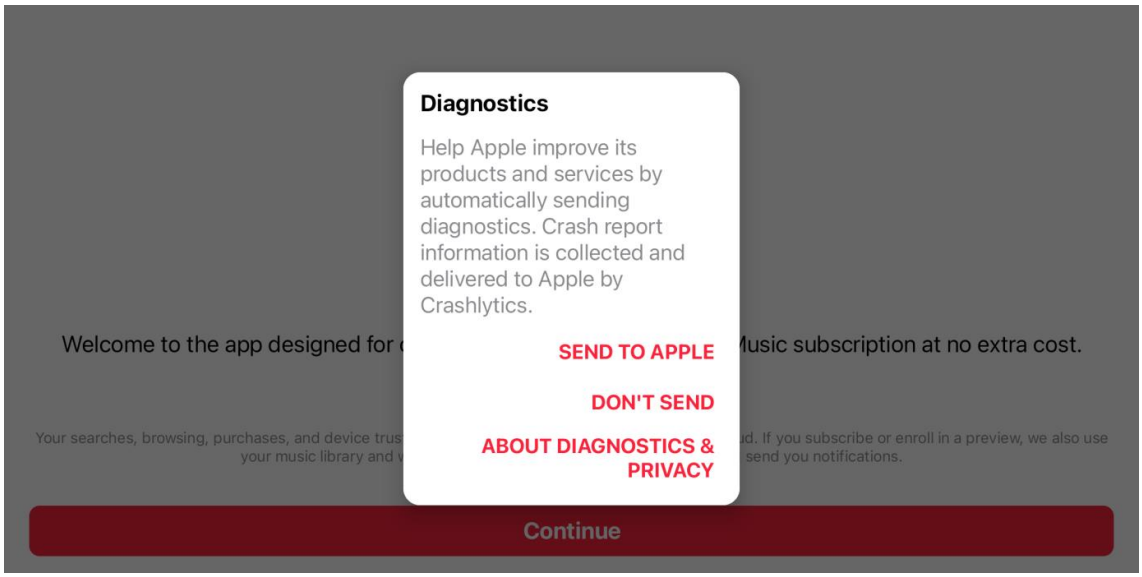
機器本体のホーム画面から Settings – Display – Automatically hide navigation bar をタッチして On にします。
注意：この設定オプションにアクセスするには、DMP-A6 ではファームウェアを v1.2.44_Beta 以降にアップグレードする必要があり、DMP-A6 (Master Edition) ではファームウェアを v1.2.74_Beta 以降にアップグレードする必要があります。



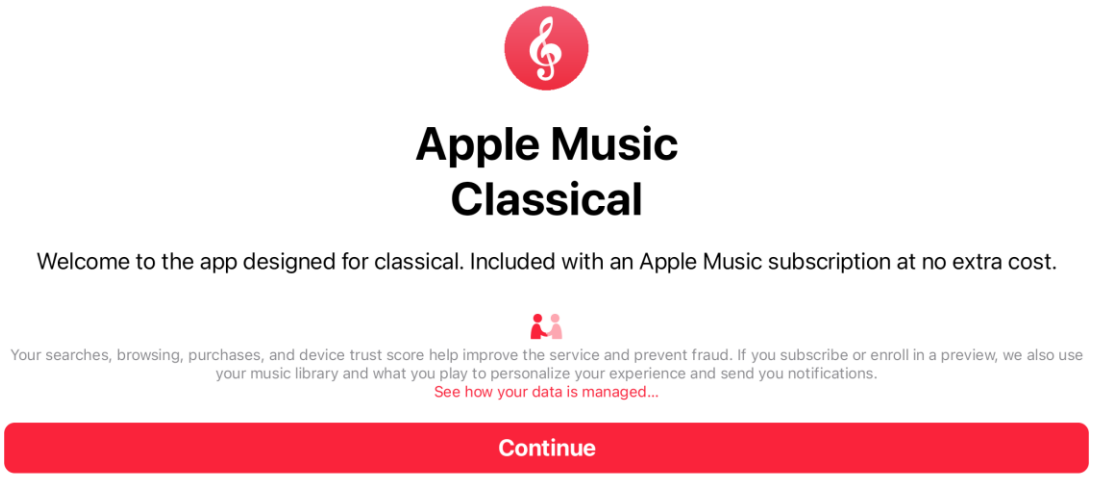
機器本体のホーム画面で Streaming をタッチして
Streaming 画面を表示した後に下にスクロールして Music Apps を見つけ、
Apple Music Classical をインストールします。



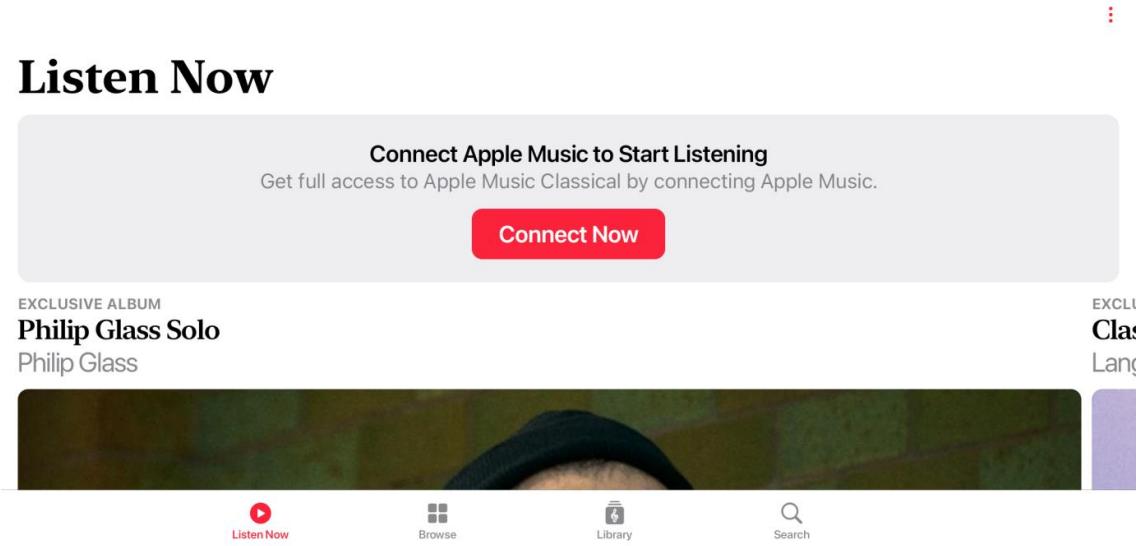
このプロンプトが表示されたら、「SEND TO APPLE」または「DON’T SEND」を選択します。



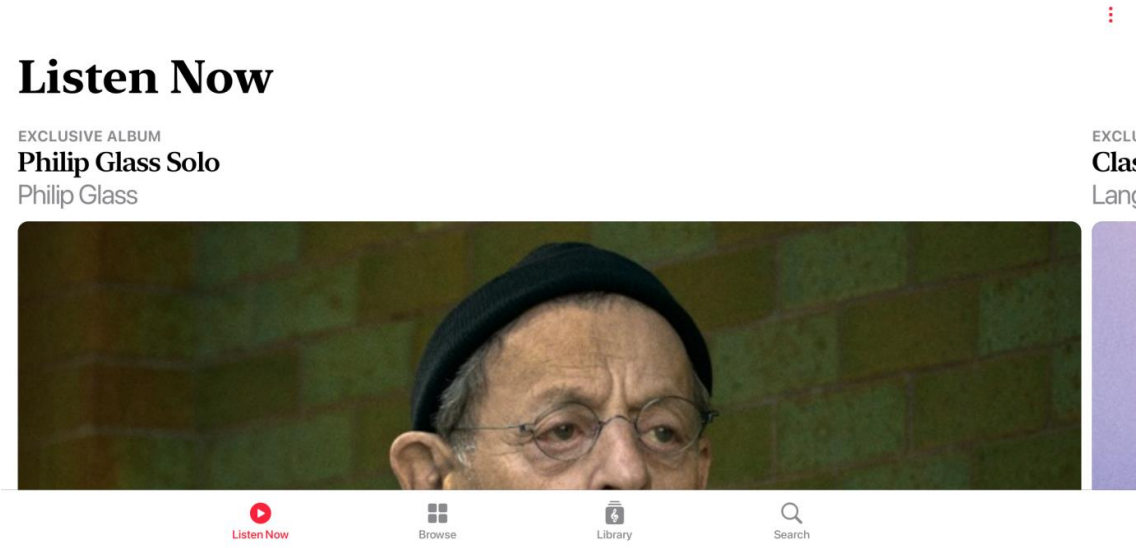
Continue をタッチします。

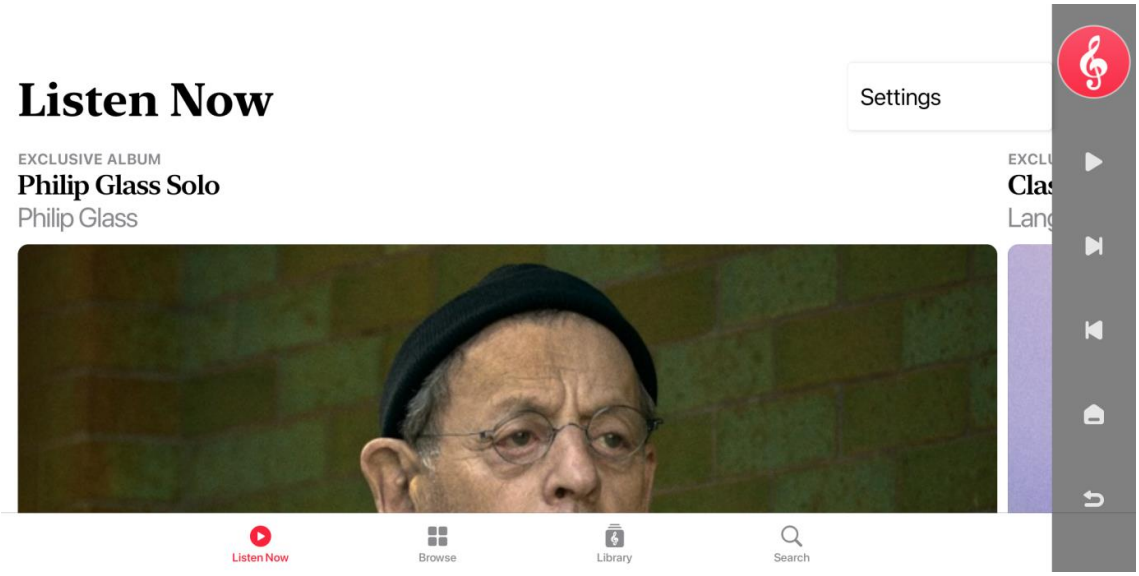


APP のメイン インターフェイスで、Connect Now をタッチして
ログイン ページに進みます。

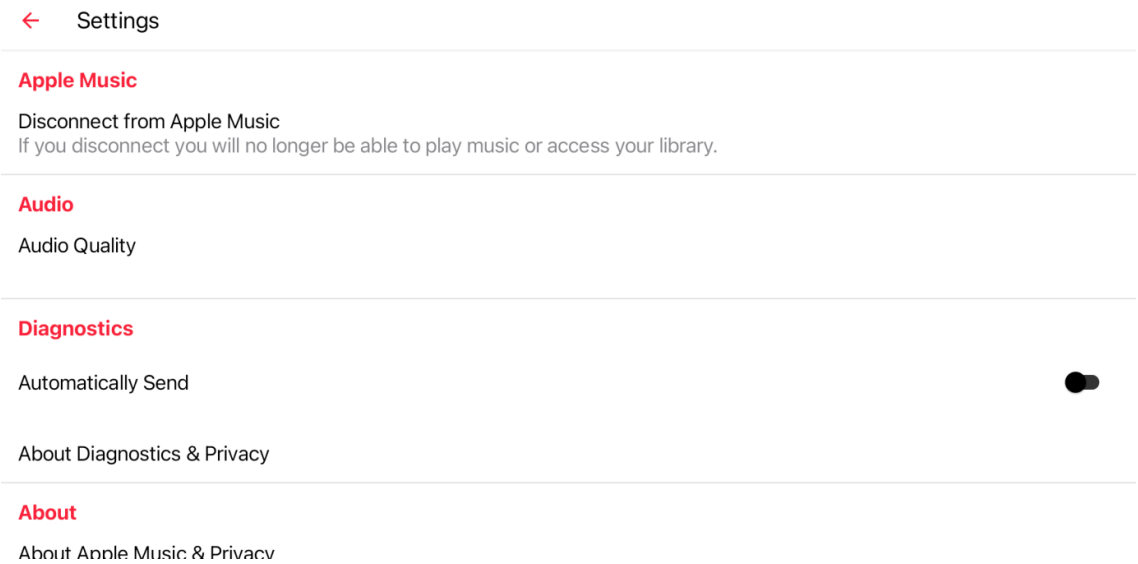


ログイン後、アプリが終了します。 ソフトウェアを手動で再起動し、右上隅にある 3 つの点をクリックして、Settings をタッチしてください。

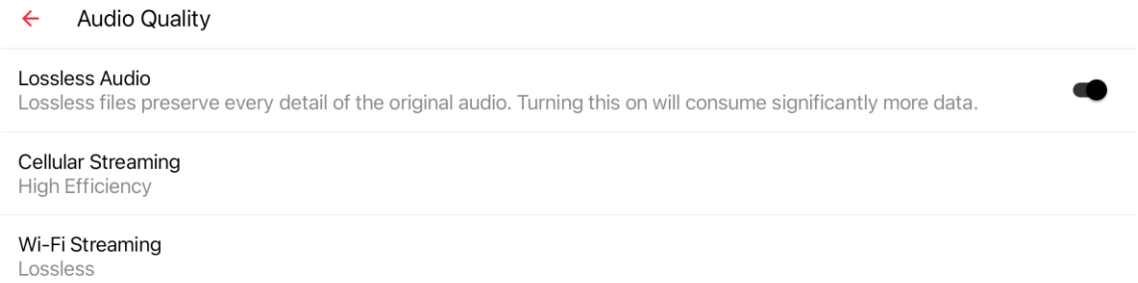




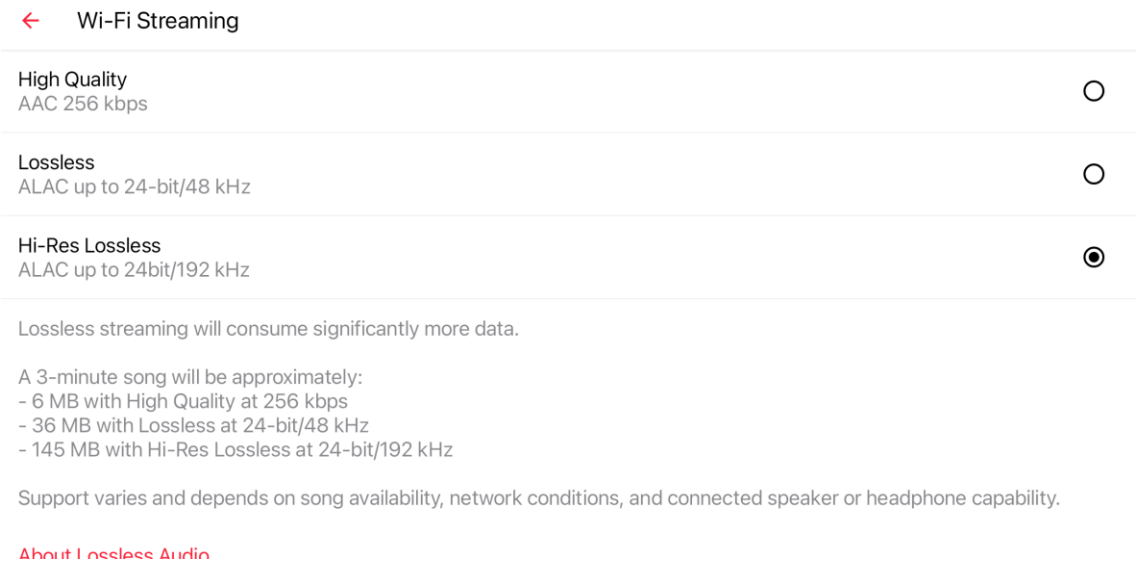
Audio – Audio Quality をタッチします。



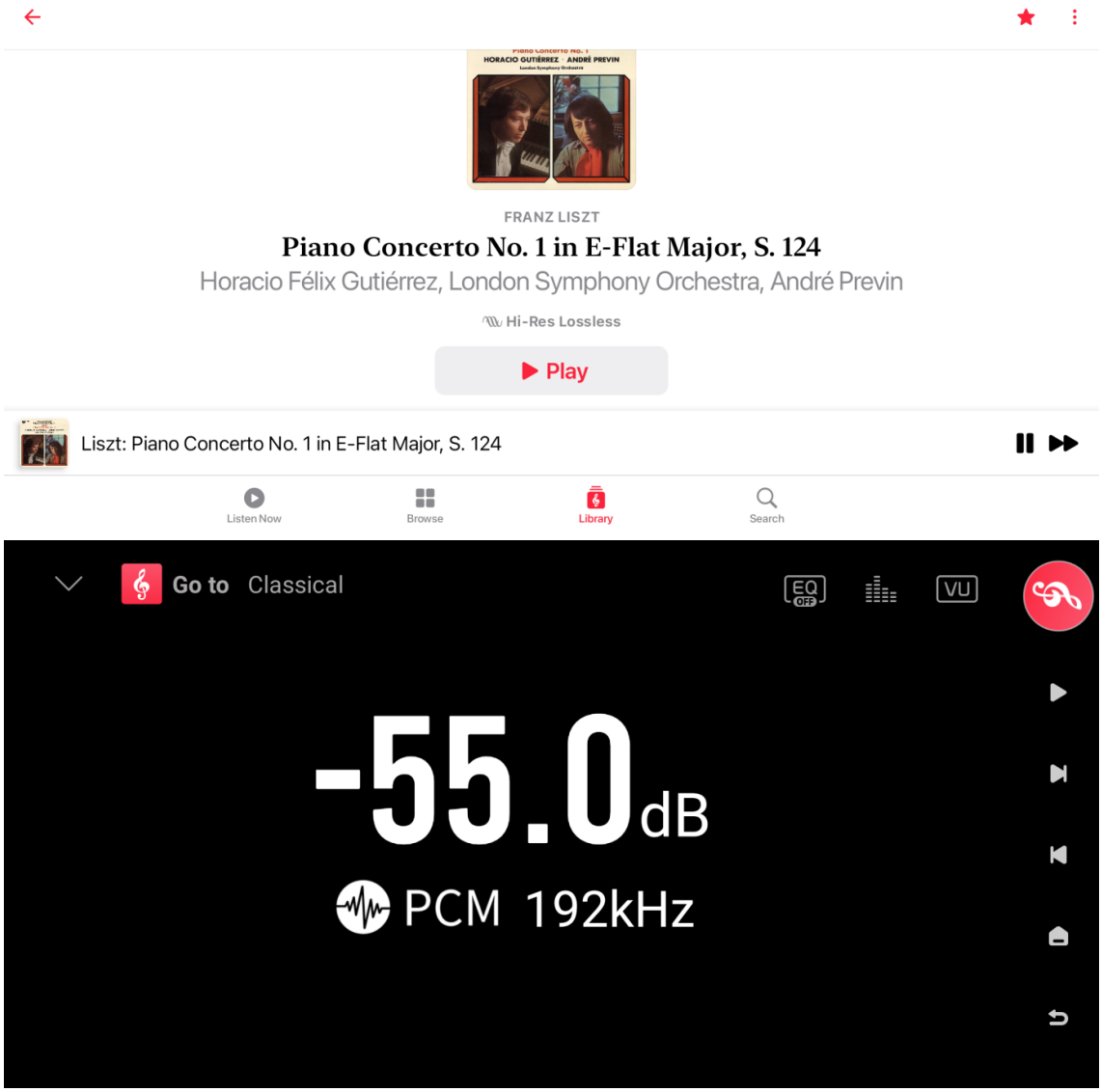
ロスレスオーディオを有効にします。



Wi-Fi Streaming をタッチし、Hi-Res Lossless を選択します。



ハイレゾで再生されるようになります。



ファイル管理（File manager）

ファイルマネージャーはローカルファイル、SSD、外部ストレージ、同じネットワーク上にある NFS、SMB の管理に使えます。

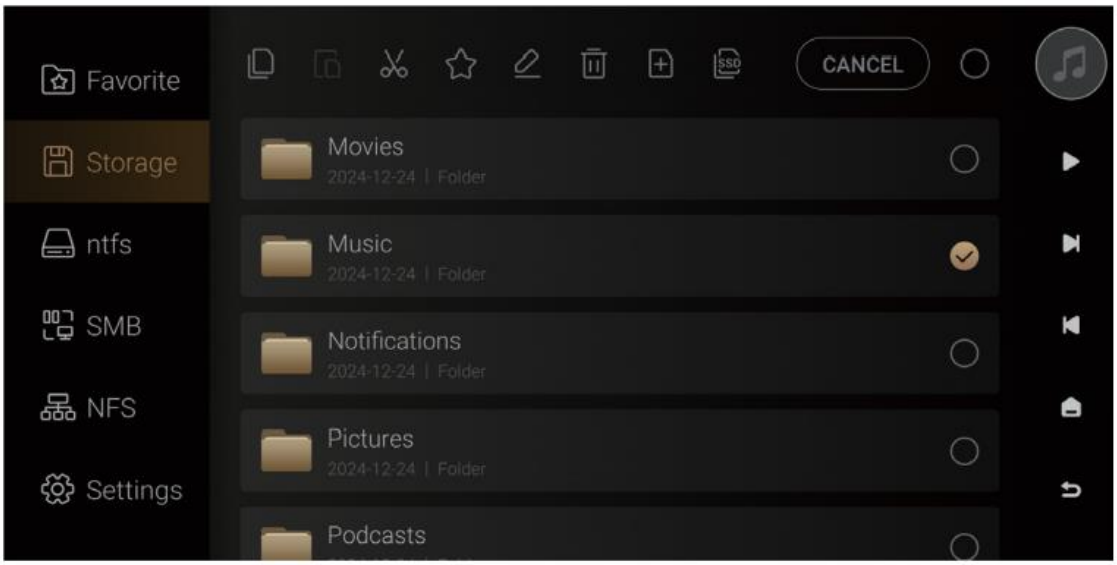
機器本体のホーム画面の

Files をタッチして表示します。

をタッチすると、切り取り、貼り付け、削除、ファイル名の変更等ができます。

外部ストレージデバイスから SSD にファイルを簡単にコピーできます。

ストレージ デバイス内の音楽ファイルを選択し、
をタッチして音楽ファイルを SSD にコピーできます。



入力と出力（Inputs/Outputs）

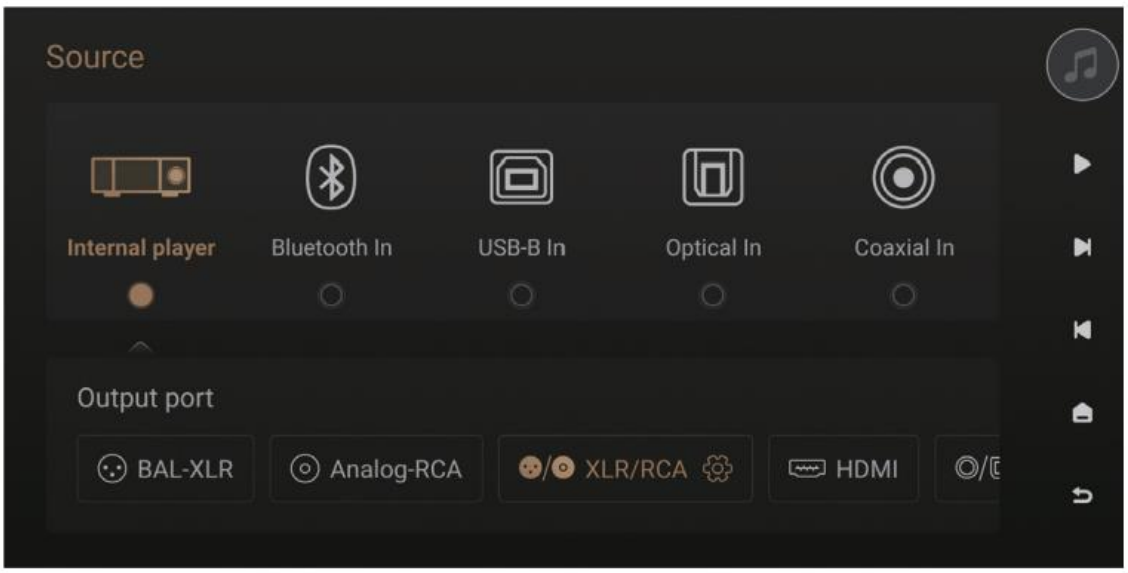
入出力を選択します
実際に接続されているものを選択してください。

機器本体のホーム画面の

Source をタッチして表示します。

モバイル機器のホーム画面及びタブレット横画面表示のホーム画面の Source をタッチしても表示できます。

※デジタル入力は同軸、光デジタル出力には対応しておりません。
デジタル入力は、アナログの RCA/XLR でのみ出力できます。



アプリケーション（Apps）

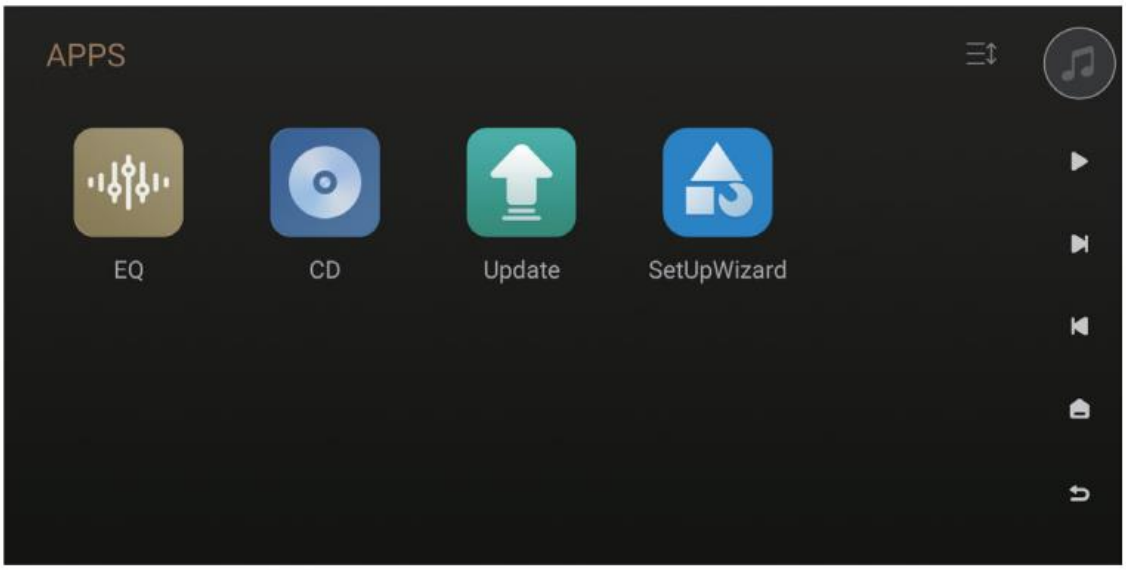
機器本体のホーム画面で

Apps をタッチして表示します。

サードパーティのアプリを表示、インストール、アンインストールできます。

サードパーティアプリをインストールするには、
まず APK ファイルをダウンロードして外付用のハードドライブにコピーし、
ハードドライブを本体に挿入してファイルマネージャーで APK ファイルを見つけ、
ワンクリックでインストールします。

注記：
※タブレット用アプリのインストールを推奨します。



CD 再生及びリッピング（CD Playback and Ripping）

Apps 画面で

CD をタッチして表示します。

USB CD-ROM ドライブを接続すると、CD から音楽を再生したり、CD から音楽ファイルをリッピングしたりすることができます。

CD リッピング手順

をクリックして CD リッピングを開始します。

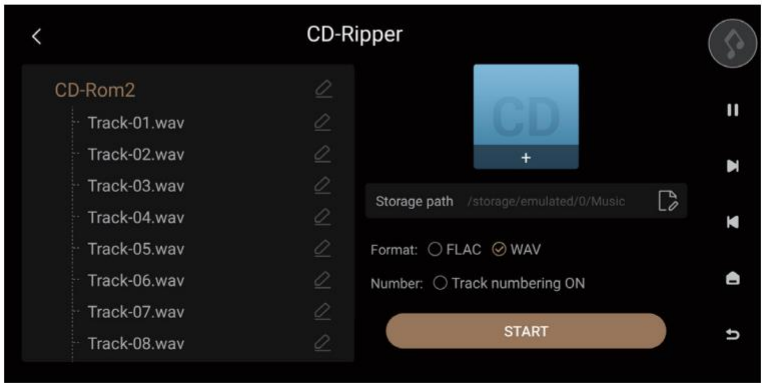
をクリックして、音楽ファイルをローカル ストレージ、内蔵 SSD、リムーバブルストレージ、または NFS、LAN 内の SMB デバイスに保存するパスを変更できます。

注:リッピング後のファイルを WAV および FLAC 形式で保存できます。

CD Playback and Ripping

By connecting with a USB CD-ROM, the device can both play music from CD and rip music files from CD. CD ripping instructions: Apps > CD > Click " " to start CD ripping.

Click " " to change the path for saving music files to local storage, internal SSD, removable storage or NFS, SMB devices in LAN.



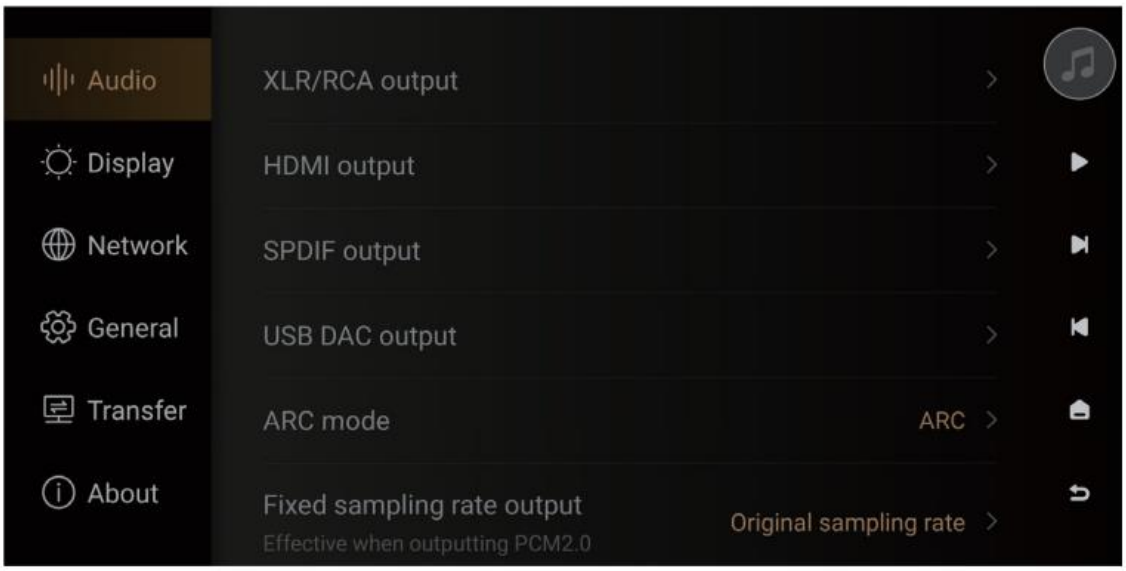
システム設定（System Setting）

機器本体のホーム画面で

Settings をタッチして表示します。

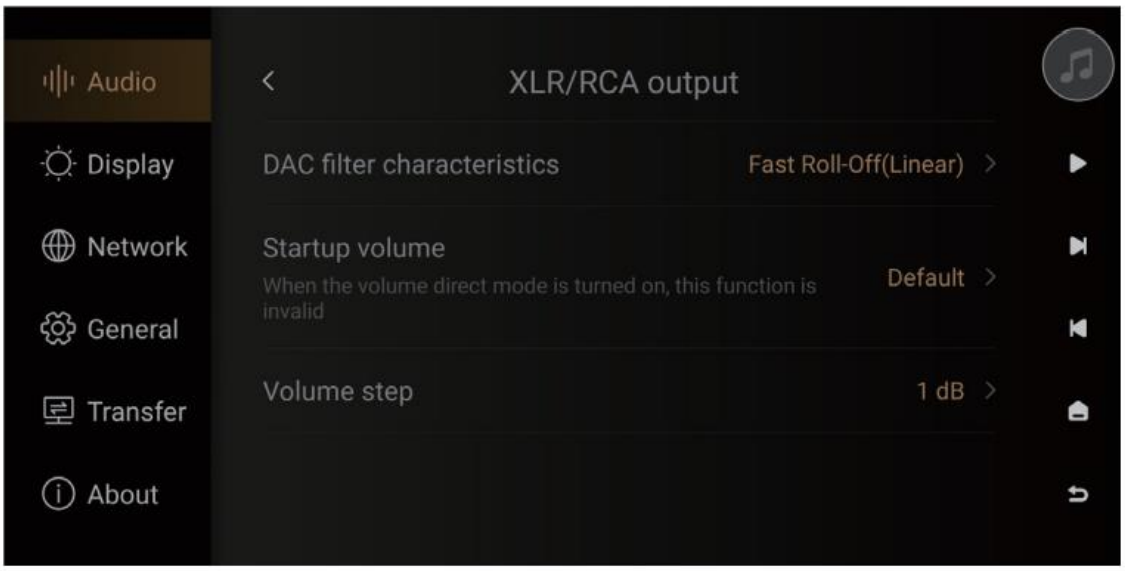
システム設定には、オーディオ設定（Audio）、ディスプレイ設定（Display）、ネットワーク設定（Network）、一般設定（General）、曲の転送（Transfer）、システムのアップグレードが含まれます。 この設定により、RCA/XLR 出力のフィルタリング特性、HDMI/光/同軸/DAC から出力されるオーディオ形式、MQA でサポートされるフォーマットを変更できます。

※MQA をデジタル出力（USB または SPDIF 出力など）経由で出力する場合は、音量を最大に設定してください。ただし、MQA がアナログ出力を介して内部 DAC から出力される場合は、音量を最大に設定する必要はありません。

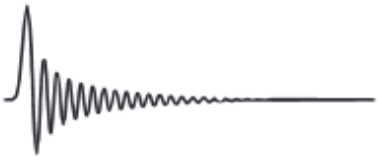
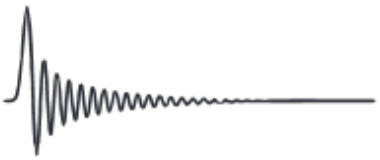
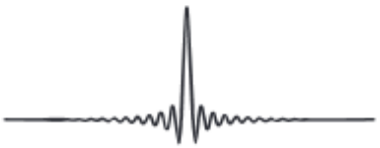
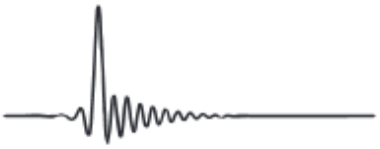
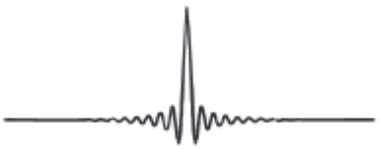


○DAC フィルタ特性（DAC filter characteristics）

好みに応じて、[Audio] > [XLR/RCA output] > [DAC filter characteristics] で
さまざまなフィルター特性を選択できます。

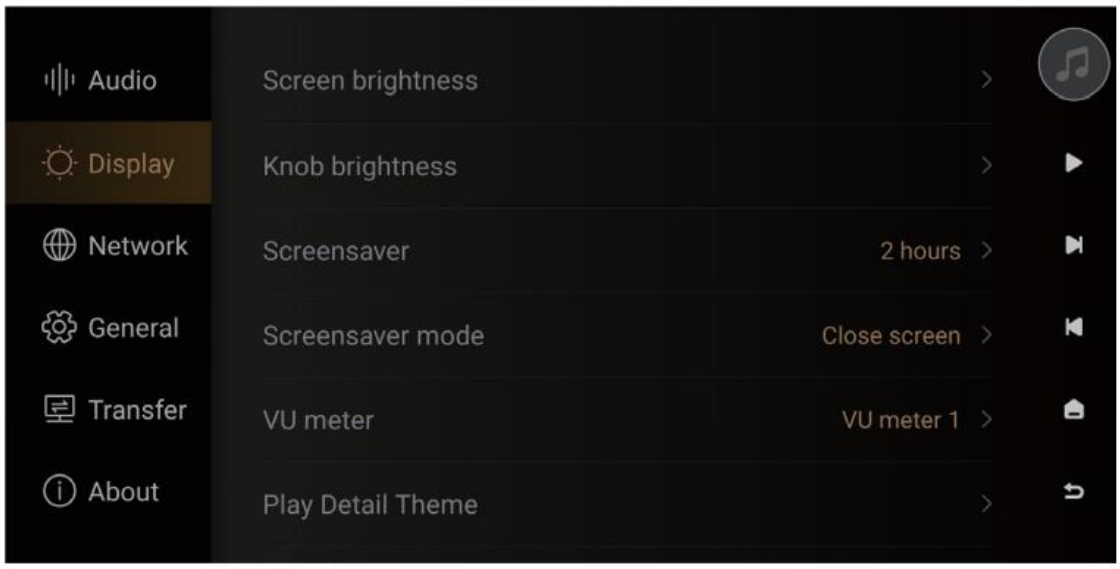


特性

FILTER	IMPULSE RESPONSE	CHARACTERISTIC	Distance	Edge
Fast Roll-Off, Linear Phase Filter		Low order reverb, natural	Far	Neutral
Slow Roll-Off, Linear Phase Filter		Low order reverb, accurate	Mid far	Sharp
Fast Roll-Off, Minimum Phase Filter		High order reverb, mellow	Mid close	Neutral
Slow Roll-Off, Minimum Phase Filte		Intermediate reverb, warm	Middle	Neutral
Apodizing, Fast Roll-Off, Linear Phase Filter		Intermediate reverb, natural	Mid far	Sharp
Hybrid, Fast Roll-Off, Minimum Phase Filter		High order reverb, mellow	Close	Sharp
Brickwall Filter		High order reverb, mellow	Middle	Sharp

〇ディスプレイ表示（Display Settings）

Display メニューには、画面の明るさの調整、スクリーンセーバーの設定、およびスクリーンセーバーモードのためのいくつかのサブメニューがあります。



画面の明るさ（Screen brightness）
画面表示の明るさレベルを調整します。

ノブの明るさ（Knob brightness）
ノブの周囲の光の明るさを調整します。

スクリーンセーバー（Screensaver）
一定時間操作をしないとスクリーンセーバーが表示されます。
操作が検出されると、システムはスクリーンセーバー状態を終了します。
「電源」ボタンを押してもスクリーンセーバーを終了できます。

スクリーンセーバーモード（Screensaver mode）
4 つのスクリーンセーバーモードを選択できます。

VU メーター（VU meter）
個人の好みに応じてお好きな VU メーターを選択できます。

Audio
Display
Network
General
Transfer
About
VU meter
VU
VU
dB
dB

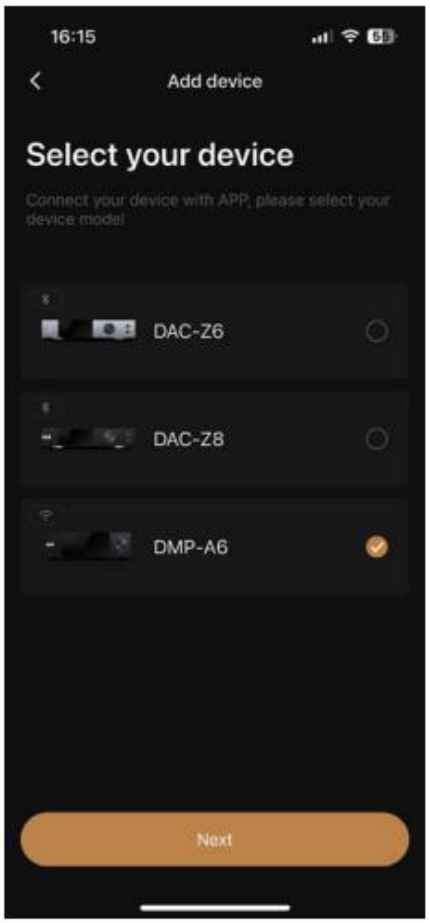
○ネットワーク設定（Network Setting）

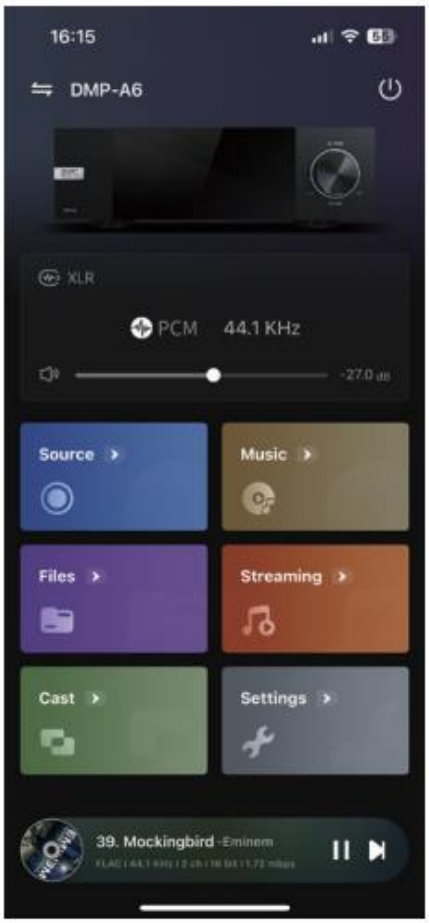
「基本操作　ネットワーク確認画面」を参照してください。
上記に載っていない Phone Control について記載します。

[Settings] > [Network] > [Phone Control]にアクセスし、
QR コードをスキャンして「Eversolo Control」アプリをダウンロードします。
または、公式 Web サイト及びマニュアルから APP をダウンロードしてインストールします。

○Mobile Phone Controlling APP

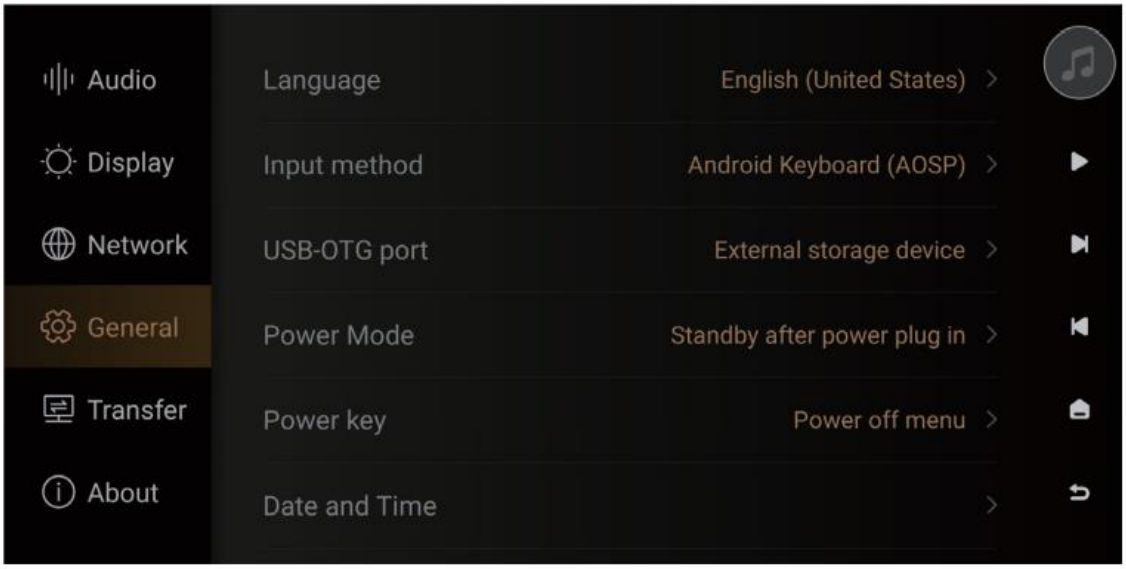
携帯電話がデバイスと同じネットワーク上にあることを確認してから、APP を開き、本体を選択して次のステップに進んでください。
正常に接続すると、ホーム画面が表示されます。





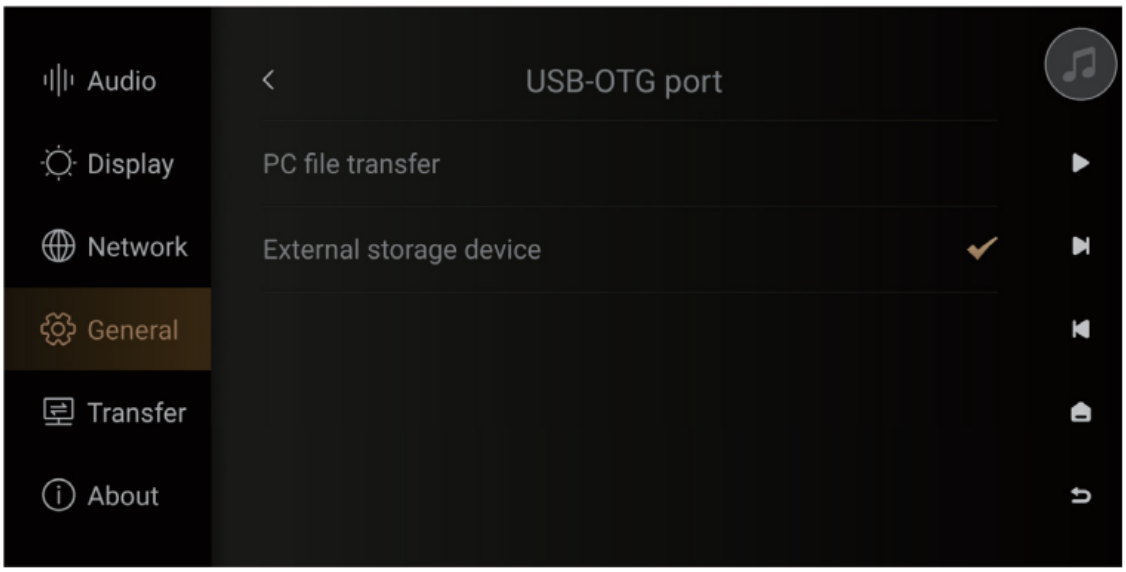
注意：
*Android (携帯電話のみ) および IOS (iPhone と iPad の両方) アプリは
どちらもクイック スタート ガイドからダウンロードできます。
※iOS アプリは、「App Store」で「Eversolo Control」と検索して
ダウンロードすることもできます。

○言語（Language）
[Setting] > [General] > [Language]にアクセスします。



○ USB-OTG Support

USB-OTG ポートを使用すると、USB データケーブルでコンピューターに接続できるため、ローカルファイルのコピーや管理に便利です。

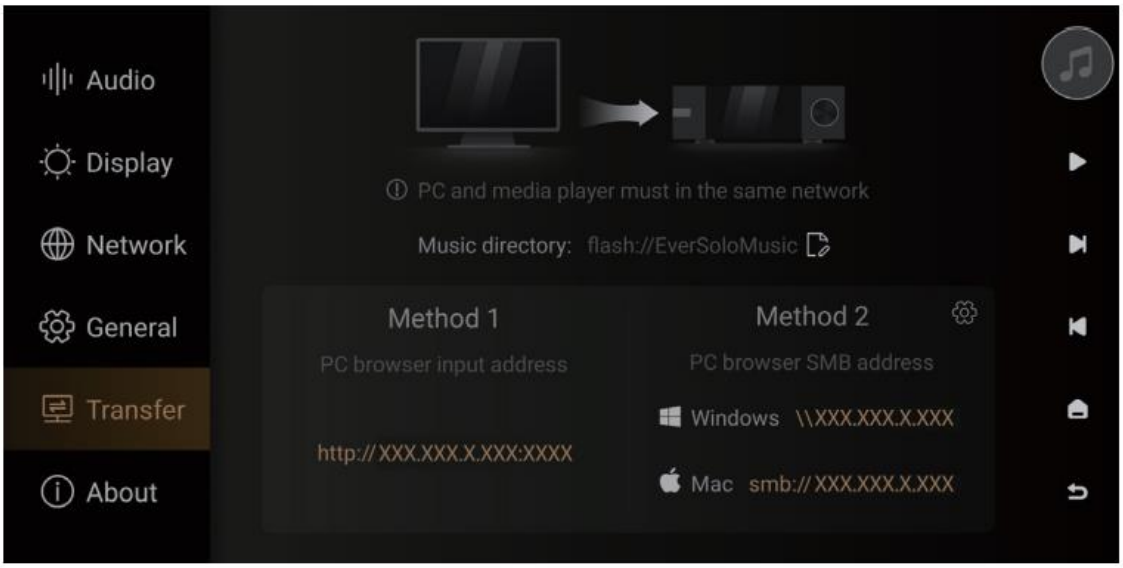


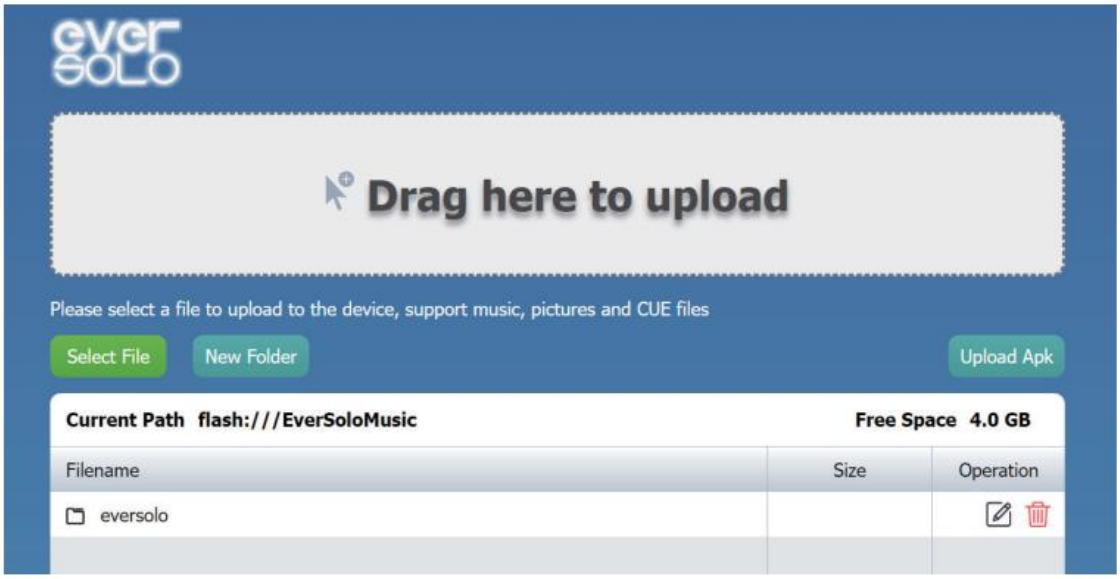
○転送（Transfer）
[Setting] > [Transfer]にアクセスします。

パソコンから本機へのパスが表示されます。

コンピュータとデバイスが同じネットワーク上にあることを確認し、ミュージックディレクトリに曲を保存するパスを選択してください。

パソコンから本機に曲を転送できます。

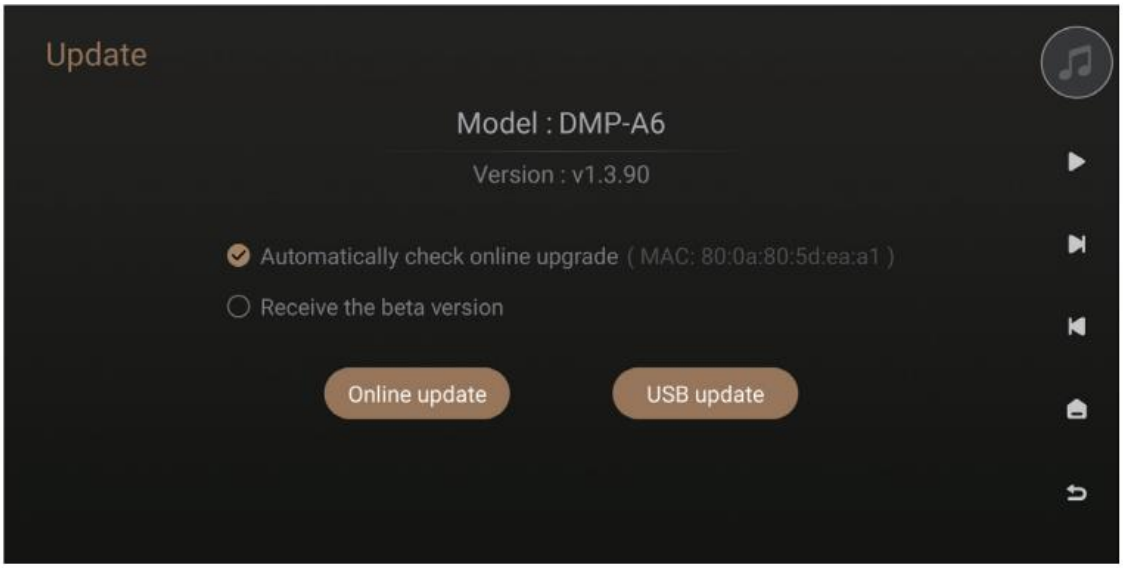




〇システムアップグレード（System Upgrade）

[Settings] > [About] > [Version]にアクセスします。

オンラインまたは USB 経由によるアップデートをサポートしています。



・オンライン アップデート
ネットワークに接続したら、「Settings」>「About」>「Version」にアクセスし、「Online Update」をクリックして最新のファームウェアを入手してください。ポップアップの指示に従ってファームウェアのアップデートを完了し、デバイスが自動的に再起動するまでお待ちください。

・USB アップデート
Eversolo DMP-A6 Gen 2 ファームウェアを USB スティックにダウンロードし、USB スティックをデバイスの USB-A ポートに挿入します。「Settings」>「About」>「Version」にアクセスし、「USB Update」をクリックしてファームウェアをアップデートし、デバイスが自動的に再起動するまでお待ちください。

注意：
* アップグレードプロセス中は、USB スティックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。

*アップグレード プロセス中は、USB スティックを取り外したり、電源をオフにしたりしないでください。
* FAT32 フォーマットの USB スティックを使用することをお勧めします。
*ダウンロードしたファイルパッケージを解凍する必要はありません。

出力設定

本機は、USB、HDMI、同軸、および光デジタル出力を備えています。
シングルエンド RCA およびバランス XLR アナログ出力も備えています。

○USB
USB オーディオ ケーブルを使用して、デバイスの USB オーディオ出力を外部 DAC の USB 入力に接続します。

次に、[Home screen] > [Source]で Internal Player を選択し、

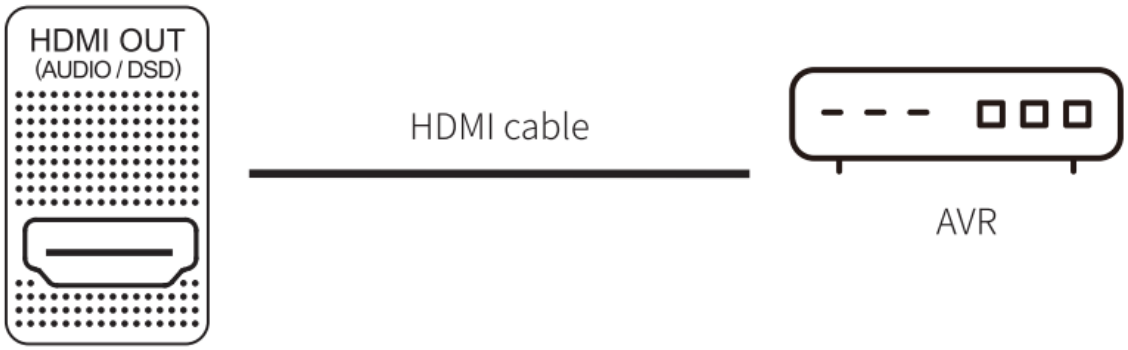
出力として USB DAC を選択します。

注記：
* USB オーディオ出力は、最大ステレオ DSD512 ネイティブ、PCM 768KHz 32Bit をサポートしています。

○HDMI　出力
HDMI ケーブルを使用して、本体の HDMI DSD 出力ポートを AV レシーバーの入力に接続します。

次に、[Home screen] > [Source]で Internal Player を選択し、

出力として HDMI を選択します。

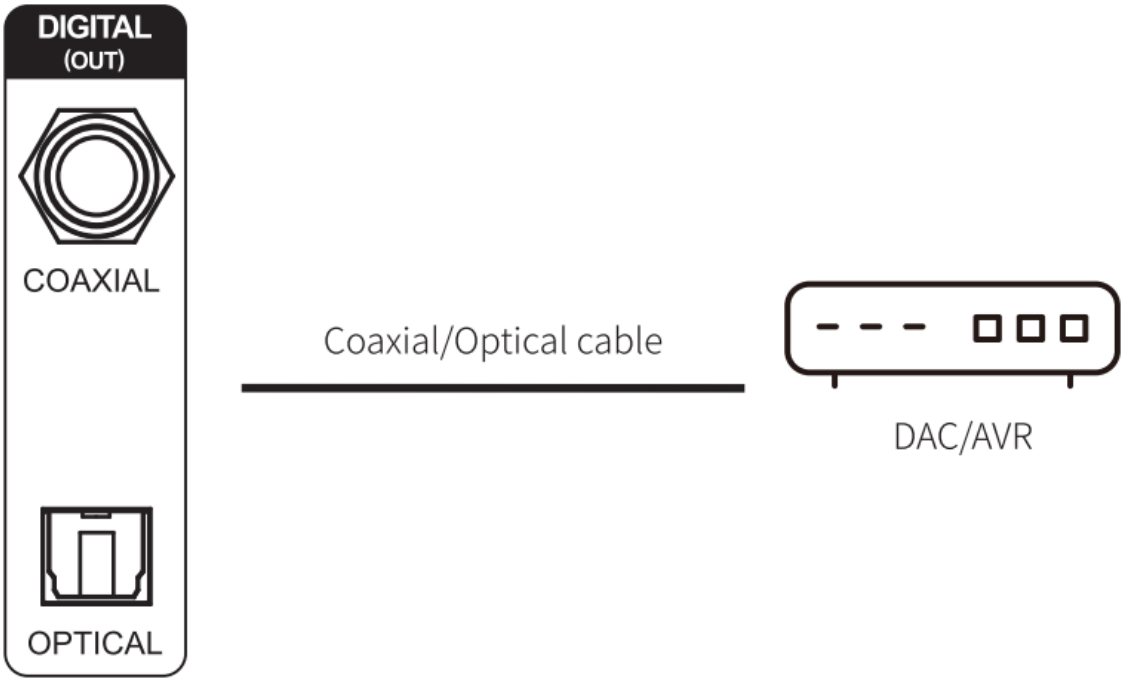


注記：
*HDMI 出力は音声信号のみ出力されます。映像信号は出力されません。
*HDMI オーディオ出力は DSD64 ネイティブ　マルチチャンネル、PCM 192KHz　マルチチャンネル　ローアウトプットをサポートします。

○SPDIF(Coaxial/Optical)　出力
同軸/光ケーブルを使用して本体の同軸/光出力ポートを
AV レシーバー入力に接続します。

次に、[Home screen] > [Source]で Internal Player を選択し、

出力として SPDIF を選択します。

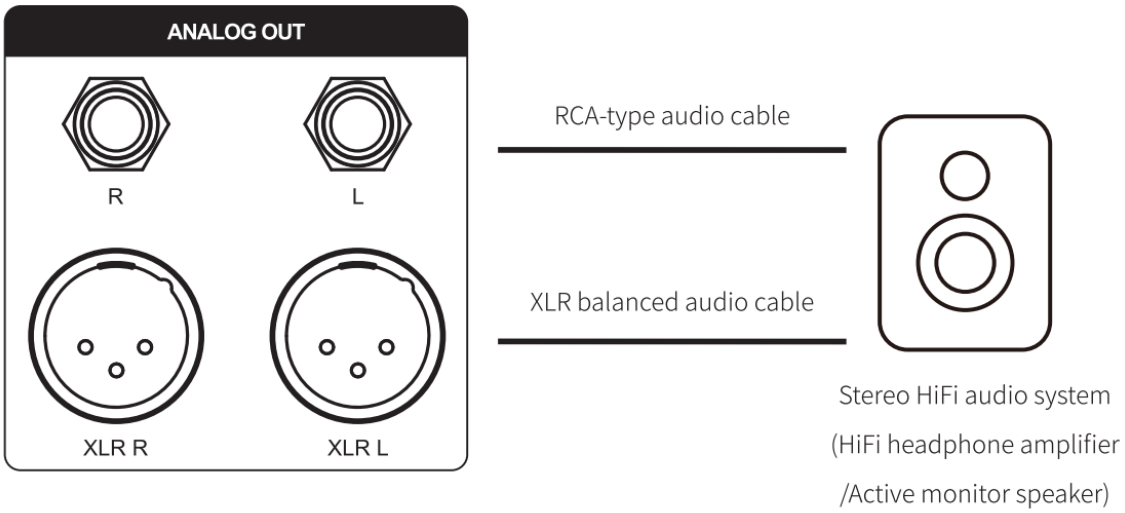


注記：
*光および同軸出力は、最大ステレオ PCM 192KHz 24Bit、DSD64 DoP, MQA フォーマットをサポートします。

○XLR / RCA　出力
一対の RCA/XLR オーディオケーブルを使用して、本体の RCA/XLR 出力をアクティブ スピーカーまたは HiFi パワーアンプの入力に接続します。

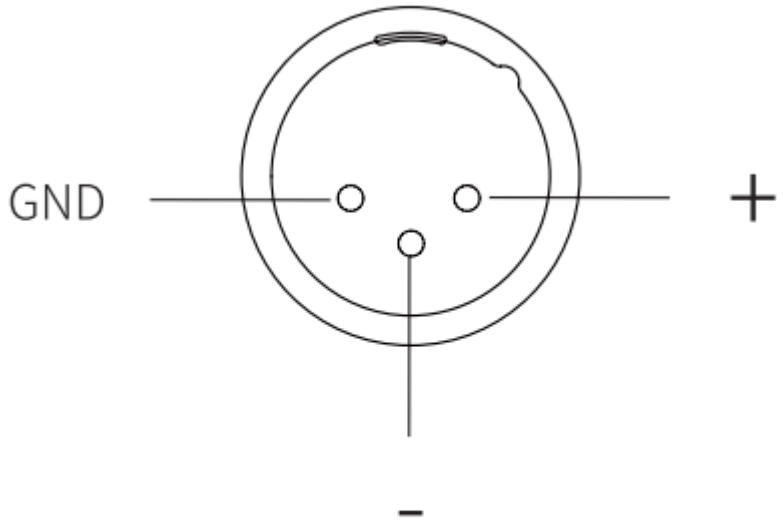
次に、[Home screen] > [Source]で Internal Player を選択し、

出力として RCA または XLR を選択します。



注記：
※2 組の RCA コネクターと XLR コネクターは別々または同時に出力できます。
ノイズ抑制と信号の完全性を優先して XLR を選択することをお勧めします。

XLR と RCA の個別出力を選択できるため、RCA と XLR の同時出力による信号干渉の可能性を最小限に抑えることができます。個別出力モードは、より優れたオーディオ インジケーターと音質をサポートします。



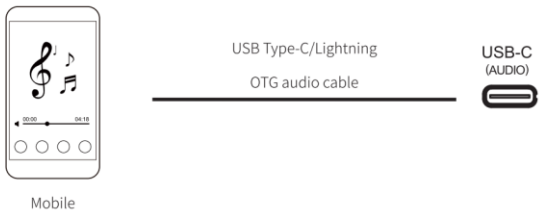
Polarity Diagram

入力設定

○USB タイプ C　入力

USB-A to Type-C ケーブルを使用して、本機を USB オーディオ出力を備えた PC、再生デバイス、携帯電話に接続します。

次に、[Home screen] > [Source]で USB-C in を選択します。



注記：

* Windows に対応するドライバーをインストールする必要があります。
このマニュアルの「ダウンロード」セクションを参照してください。

※コンピューターのサウンド出力デバイスとして本機を有効にします。

Windows: ドライバーをダウンロードしてインストールした後、コンピューターの設定に従って [コントロール パネル] > [ハードウェアとサウンド] > [サウンド] > [再生] を選択し、[XMOS USB オーディオ] を選択します。

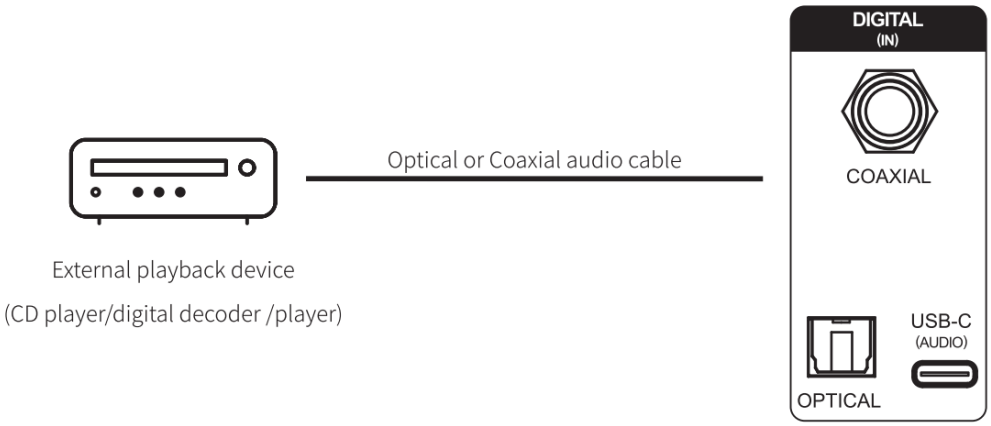
Mac: ドライバーをインストールする必要はありません。「システム環境設定 > サウンド > 出力 > EVERSOLO DMP-A6」を選択してください。

*USB 入力はステレオ DSD512、PCM 768KHz 32Bit, MQA までサポートします。
実際の仕様は外部再生デバイスのハードウェアおよびソフトウェアに依存します。

○Optical / Coaxial　入力

光または同軸オーディオ ケーブルを使用して、フロントエンド機器（メディア プレーヤーや CD プレーヤーなど）の S/PDIF 出力を本機の光または同軸入力に接続します。

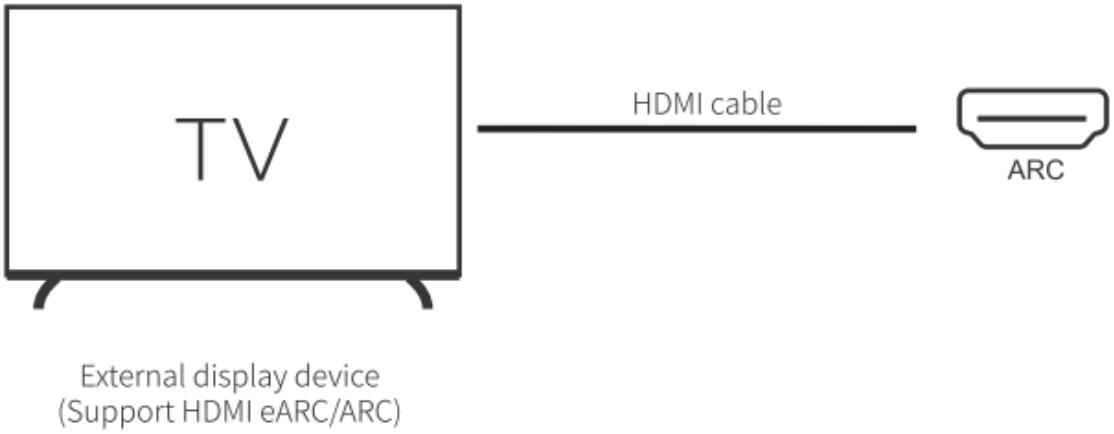
次に、[Home screen] > [Source] > [Internal Player]で Optical in / Coaxial in を選択します。



注記：
※同軸接続には 75Ω同軸オーディオケーブルをご使用ください。
※光接続には標準の光オーディオケーブルをご使用ください。
※光/同軸入力は PCM 192KHz 24Bit、MQA, DOP64 までサポートします。

○ARC　入力

HDMI ケーブルを使用して、HDMI eARC/ARC 機能を搭載したテレビ、プロジェクター、その他のディスプレイ機器に接続し、HDMI オーディオリターンチャンネル（ARC）を有効にしてください。[Source]で ARC input を選択してください。



注：

*テレビの ARC または eARC と表示されている HDMI 入力ポートに接続してください。

*HDMI ARC 入力は、最大 PCM 192KHz 24 ビットをサポートします。

*接続には光 HDMI ケーブルではなく、物理的な HDMI ケーブルを使用してください。

○Bluetooth 入力

本製品には、Qualcomm 社のフラッグシップ製品である QCC5125 Bluetooth オーディオレシーバーモジュールが搭載されており、ロスレスオーディオプロトコルである SBC/AAC/aptX/aptX LL/aptX HD/LDAC に対応しています。様々なモバイルデバイスとペアリングするための高品質 Bluetooth デコーダーとして使用できます。

[Settings] > [Source] > [Bluetooth In] に移動し、モバイルデバイスの Bluetooth を有効にして、「DMP-A6」を検索し、Bluetooth ペアリングを行ってください。

*Bluetooth の受信フォーマットは送信デバイスによって異なります。通常、Android スマートフォンではシステム開発者向けオプションで Bluetooth 出力フォーマットを切り替えることができますが、aptX HD および LDAC ロスレスフォーマットを選択することをお勧めします。

ダウンロード（Downloads）

製品ファームウェアのアップグレード、USB ドライバー、
モバイルコントロール APP のダウンロードについては、
公式 Web サイトのダウンロードページにアクセスし、
QR コードをスキャンしてください。

ドライバーをダウンロードした後、パッケージを解凍し、
.exe ファイルをダブルクリックし、ポップアップの指示に従って
インストールしてください。

Control APP

Wechat Subscription

※携帯電話のブラウザで QR コードを読み取ることを推奨します。

特記事項：
ユーザーエクスペリエンスを向上させるために、
Eversolo はファームウェアを随時更新しています。

したがって、この製品マニュアルは実際の製品の設定メニューと異なる場合があります。
さらに詳しいチュートリアルについては、www.eversolo.com をご覧ください。

困ったときは

本機の調子がおかしいときはサービスをご依頼される前に以下の内容をもう一度チェックして下さい。

本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認下さい。
それでも正常に動作しない場合は、販売店または弊社へご連絡下さい。

電源が入らない

- 本体の電源ケーブルを確実に差し込んでください。
- 電源プラグを壁コンセントへ確実に差し込んでください。（AC100V）

音が出ない

- LAN ケーブルを外し、再度確実に差し込み、再起動してください。
- Router がルーターモードになっているか（ブリッジモード等で立ち上がっていないか）確認して下さい。必要に応じて再起動してください。
- iPad 等の設定で対象のネットワークが選択されているか確認して下さい。
- APP を再起動して下さい。再起動の方法につきましては、対象の iPad のマニュアル等を参考にして下さい。（画面を閉じただけでは再起動しません）

FAQ

1. HDMI IIS で片方のチャンネルしか再生されない
   IIS は仕様が完全に決まっていないため、市場にピンアサインが異なる製品があります。
   Eversolo ではアプリ上で 2 通りのピンアサインに対応していますが、
   それ以外ですと対応できない場合があります
2. アートワークが表示されない
   画像ファイルを Eversolo に保存しておき、アプリの[Cast]で対象のアルバムを長押しし、[Edit album]>[Change cover]で対象のファイルを選択することで、アートワークを追加・変更できます

追加・変更できるアートワークは JPEG ファイルのみになります。

お手入れ

本体を取り扱う場合、手袋等をお使いください。手垢等が付着する可能性があります。
表面が汚れたときは乾いた布等にアルコールを含ませて擦って下さい。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けて下さい。

化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないで下さい。表面を傷める原因となります。

アフターサービス

この商品には保証書を付属しております。
お買い上げの際に、販売店で所定事項を記入してお渡しします。
記載内容をお確かめの上、大切に保管して下さい。

保証期間はお買い上げ日より 1 年間とさせていただきます。

保証期間中は、次ページの保証規定に基づいて管理致します。
また、保証期間の経過後でも、修理により機能が維持できる場合は、ご希望により有料にて修理させて頂きます

ご相談の際は、次のことをお知らせ願います。
◎機種名

◎故障情報を出来るだけ詳しく教えて下さい

◎ご購入年月日

保証規定

1. 保証期間内に「取扱説明書」に従って本機を取り扱っていたにも関わらず、不具合（故障、損傷など）が生じた場合には、無償修理をさせて頂きます。
2. 保証期間内に無償修理をお受けになる際には、製品及び「保証書」（「取扱説明書」に添付しています）をご提示の上、お買い上げ販売店または弊社までご連絡下さい。
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
   ① 保証書のお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
   ② 保証書記載事項の文字を書き換えられていた場合。
   ③ 保証書のご提示がない場合。
   ④ 取扱い上の不注意または故意によって生じた本機の不具合（故障、損傷など）。
   ⑤ 他の機器で生じた障害、落下などの影響によって本機が受けた不具合（故障、損傷など）。
   ⑥ 本機の不当改造または修理によって生じた不具合（故障、損傷など）。
   ⑦ 火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、公害、塩害、異常電圧などによって本機が生じた不具合（故障、損傷など）。
   ⑧ 自然消耗による部品などの交換に掛かる部品代、技術料および付属品の交換で発生する代金。
   ⑨ 出張修理を伴う場合に要する実費。
4. この保証規定は日本国内のみ有効です。
   This warranty is valid in Japan.

この保証内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は弊社にお問い合わせください。

保証書

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

厳格な検査を経てお手元にお届けしておりますが、お客様の適正なご使用にも関わらず不具合（故障、損傷など）が発生した場合には、保証書記載内容により無償で修理いたします。

本書をご提示の上、お買い上げ店、または弊社に修理をご依頼下さい。

◎ご販売店へのお願い　　太枠内の所定事項をご記入・捺印の上、必ずお客様へお渡し下さい。

◎お客様へのお願い　　購入日がわかる書面（領収書、納品書等）と本書を提示して下さい。

<table>
<tr><td colspan="3">保証期間：1 年間</td></tr>
<tr><td colspan="2">MODEL</td><td>Eversolo DMP-A6 (Master Edition) Gen2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">お客様</td><td>ご住所（〒　　－　　）　　都・道・府・県

お電話（　　－　　—　　）</td><td></td></tr>
<tr><td>お名前</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">※お買い上げ日</td><td>年　　月　　日</td></tr>
<tr><td rowspan="3">※販売店様</td><td>店名</td><td>（販売店印）</td></tr>
<tr><td>所在地</td><td></td></tr>
<tr><td>電話</td><td>（　　－　　—　　）</td></tr>
</table>

※販売店様がご記入願います。

問い合わせ先
株式会社ブライトーン
Bright Tone Co. Ltd.
〒160-0023　東京都新宿区西新宿三丁目3番13号
西新宿水間ビル6階
hp:https://www.bright-tone.com/
mail : info@bright-tone.com
tel : 050-6877-6043